

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 池内 靖子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 日高 周平

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 鈴木 盛子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 溝辺 泰雄

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 佐々木 典子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール内 容キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 桜井 延子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 東 自由里

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 坂本 利子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 佐々木 典子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 日高 周平

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 佐々木 典子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 池内 靖子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール内 容キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 桜井 延子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 馬場 智姫

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 吉田 信介

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
------	----	----

日常点(小テスト)	100%	
-----------	------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール内 容キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 溝辺 泰雄

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 竹間 優美子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 鈴木 盛子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 芝原 直美

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 鈴木 喜美

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 酒井 玲子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 馬場 智姫

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 酒井 玲子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 吉田 信介

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 池端 千賀子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 佐々木 典子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 芝原 直美

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容

キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 鈴木 喜美

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容

キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 竹間 優美子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。

また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容

キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 木村 由利子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組みなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール内 容キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 木村 由利子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール内 容キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 諏訪 共香

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位・同一の日本人教員担当)

この科目は、読み・書く力をつけることに重点をおき、基本的な英語力を改善することをねらいとしている。学生は、語彙を増やし、テキストについてコンテキストをふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、skimming, scanningなどの読む技術を習得する。また、テキストの要旨や批評にかかわって、学生はさまざまな書く課題に取り組まなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 LAWRENCE MARK BECK

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 LAWRENCE MARK BECK

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 TATE YAMASHITA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 MICHAEL JAMES DAVIES

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ZANE AARON RITCHIE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 GALE LESLIE BARCHUS

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 GALE LESLIE BARCHUS

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 THOMAS AMUNDRUD

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 THOMAS AMUNDRUD

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 MICHAEL JAMES DAVIES

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ZANE AARON RITCHIE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 JOHN J. MCATEER

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 CHRISTOPHER RAYMOND

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 MORRIS J. AUGUSTINE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 ANNA KIM

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 DWIGHT ALEXANDER TKATSCHOW

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 JOHN J. MCATEER

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 MORRIS J. AUGUSTINE

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ANDREW G. HOVEY

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ANNA KIM

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 DWIGHT ALEXANDER TKATSCHOW

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
------	----	----

日常点 (小テスト)	100 %	
------------	-------	--

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容

キーワード

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ANDREW G. HOVEY

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ANDREW DOWLING

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ANDREW DOWLING

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 BRIAN R. BERGSTROM

講義内容・テーマ

English Workshop (週2回・2単位・同一のネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、学生のオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかる。教員は、一連のテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用いる。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体を通して、自分の意見を表現することを学ぶ。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については授業の初回に各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 桜井 延子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 GERARD PIERRE LEVESQUE

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 ANDREW G. HOVEY

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 坂本 利子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価
 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 DIANE HARING

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール内 容キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 酒井 玲子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール内 容キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 TATE YAMASHITA

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 SOPHIE J. HANDY

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 池端 千賀子

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 ANDREW DOWLING

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 初修検定試験、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 LAWRENCE MARK BECK

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 1以上
 担当教員 OLIVER DAMMACCO

講義内容・テーマ

Reading and Writing? (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?初修検定試験、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1以上

担当教員 馬場 智姫

講義内容・テーマ

Reading and Writing?(週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

講義スケジュール内容キーワード

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?初修検定試験、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 SIMON ANTHONY COLE

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 ZANE AARON RITCHIE

講義内容・テーマ

Reading and Writing (週2回・2単位)

英語1に引き続き、ReadingとWritingに重点をおく。Writingでは、いくつかのパラグラフを結びつけて、主要なアイデアとそれを補強する部分と結論を含む、一つのエッセーを書くことを目標とする。学生は、英文のレトリック、主要な構成パターン(比較対照、原因結果、分類と描写など)を学ばなければならない。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、初修検定試験、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 SIMON ANTHONY COLE

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media :Print Media(週1回・1単位)

この科目は、メディアを批判的に読む力をつけることをねらいとしている。英文の新聞や雑誌の記事の構成、枠組み、言説、ナラティブ、レトリック、テクニカルな用語、言葉の選択について基本的な知識を学ぶ。また、インターネットのニュース源も活用する。ニュースを読むだけでなく、それについての分析を書く課題も含む。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 初修検定試験 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 ZANE AARON RITCHIE

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media :Print Media(週1回・1単位)

この科目は、メディアを批判的に読む力をつけることをねらいとしている。英文の新聞や雑誌の記事の構成、枠組み、言説、ナラティブ、レトリック、テクニカルな用語、言葉の選択について基本的な知識を学ぶ。また、インターネットのニュース源も活用する。ニュースを読むだけでなく、それについての分析を書く課題も含む。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 初修検定試験 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 ANDREW G. HOVEY

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media :Print Media(週1回・1単位)

この科目は、メディアを批判的に読む力をつけることをねらいとしている。英文の新聞や雑誌の記事の構成、枠組み、言説、ナラティブ、レトリック、テクニカルな用語、言葉の選択について基本的な知識を学ぶ。また、インターネットのニュース源も活用する。ニュースを読むだけでなく、それについての分析を書く課題も含む。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 初修検定試験 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media : Broadcast Media(週1回・1単位)

英語4と関連させ、メディア英語について学ぶ。英語5のほうは、テレビやラジオの英語ニュースを活用する。オーディオ・ヴィジュアルの機器を用いて、聴解力をつけることもねらいとしている。ニュース番組を見たり、聴いたりしながら、それらについて書く課題とクラスでの議論が求められる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 初修検定試験 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media : Broadcast Media(週1回・1単位)

英語4と関連させ、メディア英語について学ぶ。英語5のほうは、テレビやラジオの英語ニュースを活用する。オーディオ・ヴィジュアルの機器を用いて、聴解力をつけることもねらいとしている。ニュース番組を見たり、聴いたりしながら、それらについて書く課題とクラスでの議論が求められる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 初修検定試験 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 GALE LESLIE BARCHUS

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English in the Media : Broadcast Media(週1回・1単位)

英語4と関連させ、メディア英語について学ぶ。英語5のほうは、テレビやラジオの英語ニュースを活用する。オーディオ・ヴィジュアルの機器を用いて、聴解力をつけることもねらいとしている。ニュース番組を見たり、聴いたりしながら、それらについて書く課題とクラスでの議論が求められる。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間または学部日程で実施するTOEFL®-ITPの受験をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 初修検定試験 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 馬場 智姫

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 伊藤 聡子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 鈴木 盛子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 池端 千賀子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 鈴木 喜美

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 蛇持 純子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 酒井 玲子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 竹間 優美子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 蛇持 純子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 池端 千賀子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 酒井 玲子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 鈴木 喜美

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 馬場 智姫

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 鈴木 盛子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 伊藤 聡子

講義内容・テーマ

産業社会学部の学生が関心を持つさまざまな専門領域に関連した英文テキストを、クリティカルに読み、議論する力を養う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

辞書は必携。欠席して遅れた分は自分の責任でキャッチアップすること。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 GERARD PIERRE LEVESQUE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 DWIGHT ALEXANDER TKATSCHOW

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 RICHARD N. DONOVAN

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 SIMON ANTHONY COLE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 JOHN FREDERICK ASHBURNE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ALBIE SHARPE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 JOHN FREDERICK ASHBURNE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 DWIGHT ALEXANDER TKATSCHOW

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 STEPHEN GILL

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 GERARD PIERRE LEVESQUE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 RICHARD N. DONOVAN

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベース・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 SOPHIE J. HANDY

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 SIMON ANTHONY COLE

講義内容・テーマ

(英語重視・専修コース)English Workshop (週1回・1単位・ネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、英語2の展開で、コンテンツ・ベースト・アプローチを用いながらオーラル・コミュニケーションと聴解力に重点をおき、英語2で獲得した力をさらに伸ばすことをねらいとしている。それぞれのトピックやテーマをより深く学び、議論するために、取り上げるトピックやテーマの数については制限することが望ましい。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は第1回目の講義で指示する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げることをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げることをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 BRIAN R. BERGSTROM

講義内容・テーマ

(英語専修コース)English Seminar(週2回・2単位・日本人あるいはネイティブ・スピーカー教員担当)

この科目は、コンテンツ・ベースの科目で、特定のトピックをより深く掘り下げることをねらいとしている。これまでに取り上げられたテーマでは、「広告産業」「近代英国社会」などがある。学生は、自分の研究したいテーマを選び、担当教員の指導を受けながら、小論文を英語で書き上げることが求められる。この科目内容の詳細については、個別担当教員のコース概要を参照すること。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

* 日常点評価

3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業のスケジュールや運営方法については初回の授業で各担当者より指示します。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

前期オリエンテーション期間に実施するTOEFL®-ITPの受験をもって前期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンス(4月下旬実施予定)・留学フェアなどに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 野口 メアリー

講義内容・テーマ

This course is part of the highly integrated English for Academic Purposes (EAP) program. All three courses in this program will focus on the same content area introductory sociology to help students acquire English vocabulary and skills in a systematic way. The main goals of the reading and writing course are to teach students academic reading strategies, help build vocabulary and grammar skills for academic work, and most importantly, teach students how to write well-organized academic papers. This course will also cover basic rules of style and mechanics to help students learn how to prepare an acceptable term paper for International Institute or JWP courses or college-level courses in an English-speaking country.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Open only to students in the EAP Program. Attendance, preparation and participation are very important. It is especially important to get the first draft of papers done on time and bring them to class for peer editing.

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

Grades will be based on quizzes and homework assignments, including first drafts of each paper (40%), final drafts of each paper (40%), and attendance and participation (20%). Students who miss 5 classes or more will receive a lower grade for the course.

講義スケジュール

内 容	キーワード
Introduction, start Chapter 1	Marriage, Family and the Home
Chapter 1	Marriage, Family and the Home
Chapter 1	Marriage, Family and the Home
Chapter 2	The Power of the Group
Chapter 2	The Power of the Group
Peer assessment of first writing assignment; Unit 1 wrap-up	
Final draft of first writing assignment due; Chapter 3	Growing Up Male or Female
Chapter 3	Growing Up Male or Female
Chapter 4	Gender Issues Today
Chapter 4	Gender Issues Today
Peer assessment of second writing assignment; Unit 2 wrap-up	
Final draft of second writing assignment due; Chapter 5	Mass Media Today
Chapter 5	Mass Media Today
Chapter 6	The Influence of the Media
Chapter 6	The Influence of the Media
Unit 3 wrap-up	
Peer assessment of third writing assignment	
Final draft of third writing assignment due; Chapter 7	Crime and Criminals
Chapter 7	Crime and Criminals
Chapter 8	Controlling Crime
Chapter 8	Controlling Crime
Unit 4 wrap-up	
Peer assessment of fourth writing assignment	
Final draft of fourth writing assignment due; Chapter 9	Cultural Change
Chapter 9	Cultural Change
Chapter 10	Global Issues
Chapter 10	Global Issues
Unit 5 wrap-up	
Work on final research paper	
Peer assessment of final research paper	

<u>テキスト</u>	<u>書名</u>	<u>著者/出版社/ISBNコード</u>
	Academic Encounters: Life in Society Reading Study Skills	Kristine Brown and Susan Hood / Cambridge University Press / 0-521-66616-3

参考書

All students will be expected to bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary to class each week.

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 1

担当教員 IAN T. HOSACK

講義内容・テーマ

This class will help students develop the English reading and writing skills required for academic work at the college level. Reading, listening and discussion activities will be integrated around theme-based material helping students to develop a full range of language skills for academic purposes.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	50 %	Regular writing assignments
日常点 (小テスト)	50 %	Attendance and participation; student presentations

講義スケジュール内容キーワード

Orientation: overview of course objectives and requirements

Belonging to a Group: Reading for main ideas; dealing with unknown words; reading actively; skimming

Belonging to a Group: building vocabulary; note taking; preparing for a short-answer quiz

Belonging to a Group: predicting; defining; summarizing; using context clues; citing research

Belonging to a Group: Understanding key terms; writing expanded definitions; varying language

Belonging to a Group: topic sentences; building vocabulary; scanning; complex sentences; word maps

Gender and Sexuality: linking words; writing a comparison & contrast text

Gender and Sexuality: writing a persuasive text

Gender and Sexuality: one-sentence summaries; speed-reading techniques

Gender and Sexuality: figures of speech; previewing text headings; understanding pronoun reference

Gender and Sexuality: the SQR3 system; collocations

Gender and Sexuality: expressing numerical data; reading critically

Media and Society: linking ideas in a text; highlighting

Media and Society: reading news stories; prefixes

Media and Society: asking for clarification; summarizing

Media and Society: writing a discussion paragraph

Media and Society: reading around the topic; test taking

Media and Society: reporting verbs; citing studies in writing

Breaking the Rules: technical terms and definitions; understanding implied meanings

Breaking the Rules: using the SQR3 system; comparing data

Breaking the Rules: summarizing the main ideas; conducting surveys; writing chronological paragraphs

Breaking the Rules: describing internal & external controls; recognizing 'word families'

Breaking the Rules: synonyms; learning words related to the topic

Breaking the Rules: varying your language; figurative language

Changing Societies: sharing your cultural perspective; summarizing from topic sentences

Changing Societies: writing expanded definitions; descriptive words; writing about possibilities

Changing Societies: understanding the function of different parts of a text; punctuation

Changing Societies: referring back to ideas in the text;
explaining the text in your own words

Changing Societies: nominalizations; writing a problem-
solution text

Changing Societies: varying language; conducting a survey

テキスト

書名

著者 / 出版社 / ISBNコード

Academic Encounters: Life in Society Reading, Study Skills,
Writing

Kristine Brown & Susan Hood / Cambridge University Press /
0-521-66616-3

参考書

The above lesson schedule is tentative and subject to amendment.

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1

担当教員 DAVID G. MCCULLOUGH

講義内容・テーマ

This class will focus on extensive reading skills and will require students to complete around twenty pages of textbook reading in preparation for class each week. Classwork will include quizzes, comprehension activities and discussion.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	33 %	There will be a class text each week based on the reading done in preparation for class
日常点 (小テスト)	33 %	Students will be expected to actively discuss and respond to the text in class
その他	33 %	Attendance and timekeeping will be recorded weekly

講義スケジュール

内容	キーワード
The Study of Society	
Culture	
Socialization	
Social Structure and Social Interaction	
Groups and Organisations	
Crime and Social Control	
Stratification	
Globalization and Inequality	
Race and Inequality	
Sex and Sexuality	
Age and Health	
Family	
Education and Religion	
Politics and the Economy	

テキスト

Essentials of Sociology, 6th Edition. Thomson Learning

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

<http://sociology.wadsworth.com/brinkerhoff/essentials6e>

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 ANNA KIM

講義内容・テーマ

This course is part of the highly integrated English for Academic Purposes (EAP) program. All three courses in this program will focus on the same content area, namely, introductory sociology, to help students acquire academic English vocabulary and skills in a systematic way. The main goals of this reading course are to teach students academic reading strategies, help build vocabulary and grammar skills for academic work, develop summarizing skills and to develop and express opinions based on readings. Furthermore, in this course, students are expected to apply knowledge from the complementary courses.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Regular punctual attendance and a sustained effort throughout the semester are the keys to success for this course.

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	35 %	
日常点 (小テスト)	50 %	Weekly homework assignments (summaries, comment papers, worksheets, etc.).
その他	15 %	Attendance

講義スケジュール内 容キーワード

Introduction: What is sociology?

Culture

Socialization

Groups, Networks and Organizations

Family

Sex, Gender, and Sexuality

Racial and Ethnic Inequality

Deviance, Crime and Social Control

Politics and the Economy

Population and Urban Life

Global Inequality

Social Movements, Technology, and Social Change

Presentations

Presentations

テキスト

Essentials of Sociology, Sixth Edition, by D. B. Brinkerhoff et al. (Thomson, 2005)

参考書

Oxford English Dictionary

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1
 担当教員 YVONNE R. ISHIDA

講義内容・テーマ

This course is designed to give students the opportunity to improve their ability to listen to lectures in English. Students will also be required to give several presentations related to the topics of the lectures studied.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

Students' grades will be based on the extent to which they improve their own English proficiency in the areas of listening and giving presentations. The amount of effort students put into this course will be the main factor which determines the amount of progress made.

講義スケジュール

内容	キーワード
Course Introduction	
Marriage, Family and the Home	Listening Homework: Culture Shock
Marriage, Family and the Home	
Group Presentations	
Growing Up Male or Female	Listening Homework: Gender and Language
Growing Up Male or Female	
Group Presentations	
Mass Media Today	Listening Homework: Dangers of the Mass Media
Mass Media Today	
Group Presentations	
Crime and Criminals	Listening Homework: The Death Penalty
Crime and Criminals	
Group Presentations	
Cultural Change	Listening Homework: Our Changing Cities
Group Presentations	

テキスト	書名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	Academic Listening Encounters: Life in Society	Kim Sanabria / Cambridge University Press / 0-521-75483-6

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 1

担当教員 野口 メアリー

講義内容・テーマ

This course is part of the highly integrated English for Academic Purposes (EAP) program. All three courses in this program will focus on the same content area introductory sociology to help students acquire English vocabulary and skills in a systematic way. The main goals of the listening and speaking course are to build on the high listening comprehension skills the students already have and help them learn to listen to lectures and discuss academic subjects in English. They should also learn how to make the kind of presentations of their own research that would be required in International Institute or JWP courses or college-level courses in an English-speaking country.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Open only to students in the EAP Program. Attendance, preparation and participation are very important. Students will be expected to do some listening homework outside of class.

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

Grades for this course will be based on presentations (30%), homework assignments and quizzes (50%), and attendance and participation (20%). Students who miss 5 classes or more will receive a lower grade for the course.

講義スケジュール

内容	キーワード
Introduction, start Chapter 1	Marriage, Family and the Home
Chapter 1	Marriage, Family and the Home
Chapter 1; homework: listening to Chapter 2 lecture	Marriage, Family and the Home
Work on delivery: practicing posture, eye contact and expression; start Chapter 3	Growing Up Male or Female
Delivery of memorized quotation; Chapter 3	Growing Up Male or Female
Chapter 3; homework: listening to Chapter 4 lecture	Growing Up Male or Female
Chapter 5	Mass Media Today
Chapter 5; homework: listening to Chapter 6 lecture	Mass Media Today
Work on incorporating visual aids into presentations; start Chapter 7	Crime and Criminals
Chapter 7; homework: listening to Chapter 8 lecture	Crime and Criminals
Chapter 9	Cultural change
Chapter 9; homework: preparing for final presentations	Cultural change
Chapter 10; homework: preparing for final presentations	Global Issues
Final presentations	
Final presentations	

テキスト

書名	著者 / 出版社 / ISBNコード
Academic Encounters: Life in Society Listening, Note-Taking and Discussion	Kim Sanabria / Cambridge University Press / 0-521-75483-6

参考書

All students will be expected to bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary to class each week.

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 GALE LESLIE BARCHUS

講義内容・テーマ

This course is designed to help students improve critical thinking skills through reading a wide range of contemporary Japanese (in English), Asian and Western literature. Students will be expected to understand main ideas, organizational patterns and author bias. Students should be able to comprehend a variety of viewpoints, develop and support their own opinions concerning topics presented in essays, magazines and fiction/non-fiction books of varying lengths.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Students will be required to collaborate in pair work, small group and class discussions. Homework must be completed BEFORE the scheduled discussion dates which will be provided to the students in class.

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

Students will be evaluated on the basis of class participation, quizzes on readings, individual research, written reports and exams.

講義スケジュール

内容	キーワード
Pre-Reading Questions	
Finding Main Ideas	
Finding Major points and Minor Details	
Critical Reading	
Recognizing Organization	
Understanding Sequences (also called Sequencing or What happened next?)	
Paraphrasing	
Vocabulary from Context	
Vocabulary in Context	
Word Forms	
Word Connotations	
Oral Practice of Vocabulary	
Summary Practice	
Study Skills - Outlining	
Discussion Questions and Writing Assignments	

テキスト

Reading materials will be provided as handouts by the teacher and internet research assignments.

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 SOPHIE J. HANDY

講義内容・テーマ

This course teaches students the basic rules for academic debates and gives them practice in debating topics that they have studied in other courses, especially their major (they will choose from a number of contemporary issues which will be debated in class). This course will also teach students how to express and present their opinions as well as discuss and dispute the opinions of others. As well as learning to use the formal/academic language of debate, students will also develop the ability to support their ideas with evidence and to critically evaluate and contest the evidence provided by others. Finally, this course should enhance students' global communication skills in the area of effective persuasion which will be useful in various academic and business situations in the future.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

As this is a debate class, it is obvious all students should speak and participate. To do this, attendance and preparation are vital. Students MUST prepare the topic BEFORE they come to class so they are ready to take part in the debate.

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	0 %	See notes above.

Grades will be based on participation in discussion (40%), use of formal/academic language for debate (30%) and attendance (30%). Students who miss FIVE or more classes will automatically fail the course. See course handout for details on the first day of class.

講義スケジュール

テキスト

There will be no textbook for this class. The teacher will provide handouts, so students will need a folder to keep them together.

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

Full schedule to be compiled. A handout detailing the outline of the course will be given to students in the first class.

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 2以上
 担当教員 田口 達也

講義内容・テーマ

この授業では、新聞・放送の英語ニュースを多角的に学んでいくことを主眼としている。主な活動は、時事的内容を扱った記事の読解力養成を試み、記事に関する放送を通じてリスニング練習を行うことである。また時事英語を難しくしている時事英語特有の単語力の増強も行う予定である。これらの活動を、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツにいたるまで多方面のニュース記事を使用して行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

授業内容の性質上、予復習は欠かせない。時事英語になれる早道は時事英語によく出てくる単語を覚えていくことである。十分な復習・確認を期待する。また背景知識の理解を深めるため、平日頃から新聞を読み、様々な時事問題に対して関心を持つことが大切である。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	主として第7回目と最終講義日の2回の試験によって評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
オリエンテーション + Ch. 1	
Ch. 2	
Ch. 3	
Ch. 4	
Ch. 5	
Ch. 6	
第1回目試験	
Ch. 7	
Ch. 8	
Ch. 9	
Ch. 10	
Ch. 11	
Ch. 12	
最終講義試験	

テキスト	書名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	時事英語の総合演習－2005年度版－	藤井章雄、内野泰子 / 朝日新聞社 /

参考書

授業中に適宜紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

授業中に適宜紹介する。

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2以上
担当教員 RONALD GEOFFREY STEWART

講義内容・テーマ

This theme for this class is popular culture. This class will draw on a variety of materials to practice in the 4-skills.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

There will be two tests given for this class based on materials covered in class.

講義スケジュール

テキスト

There is no text for this class. Handouts will be provided for each lesson.

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 2以上
 担当教員 佐々木 敏二

講義内容・テーマ

全体が16章から成り立っているテキストであるが、その中から12章ほどを教室でやる。
 3章はレポートの対象として自分で読んでもらい、レポートを出してもらおうとする。最後の章 Epilogueは、アメリカとカナダの文化の比較なので、テキストのみでは不十分なので講義をする予定である。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

毎日きちんと予習して出席してほしい

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	60 %	
レポート	30 %	3回程レポートを課す
その他	10 %	出席点(主として)

講義スケジュールテキスト

Paul Stapleton: Beneath the Surface 「日米文化比較論」(成美堂) 1500円

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2以上
 担当教員 DAVID ALFRED SELL

講義内容・テーマ

This course develops the four skills on the basis of progress in hearing ability. We will use the textbook material to practice listening for content, for meaning and for wording. The tasks will help you understand English of moderate difficulty and carry out conversational exchanges. Writing exercises such as summarizing will give some training in vocabulary usage. Supplementary material will be distributed in class.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	100 %	Two tests: in classes 7 and 14

Two tests are given, based on the textbook. Absence from class will make it very difficult to pass the tests. Grades are either C or F (pass or fail) -- determined by the test results.

講義スケジュール

内容	キーワード
4/13	
4/27	
5/18	
6/ 1	
6/15 TEST1	
6/29	
7/13	
7/20 TEST2	

テキスト	書名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	Easy Listening	/ Seido / 4-7195-0184-5

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 2以上

担当教員 溝辺 泰雄

講義内容・テーマ

系のコンテンツを軸とする中規模クラスです。大学卒業までに最低限身につけておきたい英語コミュニケーション能力を総合的に補強することを目標とします。具体的な内容は初回講義日に説明します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準講義スケジュールテキスト

書名	著者 / 出版社 / ISBNコード
The Powerful Reader [Second Edition], 以下のテキストへ変更になりました	[変更になりました] / [変更になりました] / [変更になりました]
「Topics in International Society(ビデオが語る世界のトピック)」	/ 朝日出版社 /

「生協書籍部にて販売」

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2以上
担当教員 RONALD GEOFFREY STEWART

講義内容・テーマ

This theme for this class is popular culture. This class will draw on a variety of materials to practice in the 4-skills.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

There will be two tests given for this class based on materials covered in class.

講義スケジュール

テキスト

There is no text for this class. Handouts will be provided for each lesson.

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 1以上
 担当教員 海竇 康臣

講義内容・テーマ

英文の内容を正確に理解するために必要な文法事項の復習をしながら、主に読む力と聞く力の向上を目指します。この授業を通して、文法的に正しい英文を構成する力と、英語を英語の語順のまま理解する力を身につけてもらいたいと思います。また、語彙を増やすとともに、文脈情報から未知の語の意味を推測する力も養ってもらいます。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

1回目の授業は必ず出席してください。予習に関しては担当者の指示に従ってください。試験の際は学生証を机の上(通路側)に置いてください。試験では授業での学習内容と密接に関連した問題を出題します。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	試験(1) 50% / 試験(2) 50%

2回の試験の成績で評価します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
オリエンテーション & Unit 1	
Unit 2	
Unit 3	
Unit 4	
Unit 5, 6	
Unit 7, 8	
Unit 9, 10	
試験(1)	
Unit 11, 12	
Unit 13, 14	
Unit 15, 16	
Unit 17, 18	
Unit 19, 20	
試験(1)	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	Powe-UP English (Intermediate)	JACETリスニング研究会 / 南雲堂 / 4-523-17481-4

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 2以上
担当教員 坂本 利子

講義内容・テーマ

This course is designed for learning English through the means of Video Listening. We watch a video excerpt each week on various aspects of the new age and learn about diverse topics as well as English vocabulary, listening, speaking, writing and discussion.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

- 1) Students are required to read the text and do the exercises in advance.
- 2) Students' active participation in the work of the course and contribution to classes are essential to make this course successful.

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

Based on active participation, exams and other assignments.

講義スケジュール

テキスト

John S Lander, "Century: Life in the New Age" (Asahi Press).

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 1以上

担当教員 海寶 康臣

講義内容・テーマ

この科目では「遺伝子組み換え食品の安全性」や「正義の戦争はあるのだろうか」といった賛否両論がある問題を題材にして、主に読む力と聞く力の向上を目指します。授業では書き手(話し手)の意見とそれを述べる理由を把握する練習をしながら、英語を英語の語順のまま理解する力、未知の語の意味を文脈から推測する力、語彙力をつけてもらいます。授業を通して自分の意見に説得力をもたせる方法も学んでください。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

1回目の授業には必ず出席してください。予習に関しては担当者の指示に従ってください。試験の際は学生証を机の上(通路側)に置いてください。試験では授業での学習内容と密接に関連した問題を出題します。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	試験(1) 50% / 試験(2) 50%

2回の試験の成績で評価します。

講義スケジュール内容キーワード

オリエンテーション & Unit 1

Unit 2

Unit 3

Unit 4

Unit 5

Unit 6

Unit 7

試験(1)

Unit 8

Unit 9

Unit 10, 11

Unit 12, 13

Unit 14, 15

試験(2)

テキスト書名

Opposing Views Welcome

著者 / 出版社 / ISBNコード

Benjamin Porter・西本徹 / 成美堂 / 4-7919-0064-2

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 2以上
担当教員 佐々木 敏二

講義内容・テーマ

全体が16章から成り立っているテキストであるが、その中で教室では12章ほどをやる。他の章はレポートの対象として自分で読んでもらい、レポートを出して貰うこととする。最後の章 Epilogueはアメリカとカナダの文化の比較であるが、テキストのみでは不十分なので講義をする予定である。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

毎日きちんと予習して出席してほしい。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	60 %	
レポート	30 %	3回程レポートを課す
その他	10 %	主として出席

Paul Stapleton: Beaneath the Surface 「日本文化比較論」(成美堂) 1500円

講義スケジュール

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 1以上
 担当教員 佐々木 典子

講義内容・テーマ

文法の基本を復習しながら、日米比較についての英文を読み、聞き、書く練習をします。四技能を伸ばすことを目的とします。トピックは、日米の違い(教育、結婚、宗教、日常生活、等)です。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

受講上の注意事項に関しては、最初の授業で、説明します。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	

日常点および第8回と第15回に行うテストで、評価します。

講義スケジュール

内容	キーワード
1 Introduction	
2 Capital Cities, Movies	
3 Transportation, Advertisement	
4 Education, Loan Words	
5 Work, Memorial Day	
6 Weddings, Marriage	
7 Gifts	
8 Test	
9 One-Child Families, Divorce	
10 Humor, Comic Books	
11 Religion, Beverages	
12 Christmas, Year-End Parties	
13 Baths, Sports	
14 Cram Schools, Seafood	
15 Test	

テキスト

書名	著者 / 出版社 / ISBNコード
Basically America, Basically Japan	Clark, Mihara, Fukumoto, Shonaka and Kimura / 南雲堂 / 4523174709

大学生協で購入してください。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 1以上
 担当教員 佐々木 典子

講義内容・テーマ

現代社会の抱える問題に関する文章を読み、英語の四技能を身につけるとともに、考える力を育てます。扱うトピックは、エイズ、イスラム、遺伝子治療、異文化ステレオタイプなどです。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

受講上の注意事項に関しては、最初の授業で、説明します。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	

日常点および第8回と第15回に行うテストで、評価します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
1 INTRODUCTION, YOU ARE IN MY SPACE	
2 CRIME AND PUNISHMENT	
3 AIDS IN AFRICA	
4 THE OTHER ISLAM	
5 THE "INHUMAN" GENOME PROJECT	
6 THE DIVERSITY OF LYING	
7 BLACK MAN, WHITE MAN, RED MAN, YELLOW MAN	
8 TEST	
9 A "TITANIC" FALSIFICATION OF HISTORY	
10 CULTURAL STEREOTYPES	
11 LESSONS THAT SHOULD BE LEARNT	
12 HONG KONG DISNEYLAND	
13 AN ASIAN CENTURY	
14 CULTURAL CONUNDRUMS	
15 TEST	

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
FACE IT! 異文化への視線	Asama and Sloss / 南雲堂 / 4523173982

大学生協で購入してください。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 1以上
 担当教員 堀田 秀吾

講義内容・テーマ

英語圏の国々と日本のさまざまな差異、英語と日本語に現れる文化差、そしてこれまでの学校文法とは少々異なった視点から見た文法を使った表現の学習まで、さまざまなテーマの講義、アクティビティを通じて英語力の総合的な力を伸ばすことを目標とします。とにかく出席して、与えられた課題を授業中にマジメにこなしていくことが大事です。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

特になし

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	30 %	出席点
その他	70 %	授業毎に行う課題 (質を評価)

講義スケジュール

内容	キーワード
別途に指示する。	

テキスト

授業毎に課題・資料を配布

参考書

特になし

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

予習は特に必要ありませんが、授業中に真剣に課題に取り組むことが重要です。ただ出席するだけでは単位を取るのには困難だと考えてください。

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 2以上

担当教員 酒井 玲子

講義内容・テーマ

英語の辞書を手にとると、こんなに莫大な量の英単語を知ることが到底できないと思うのが普通ではないでしょうか？ 英語の語の世界ははるかかなたに聳え立つ高い山のように思えるかもしれません。しかしそうではないのです。英語の語の世界は登れない山ではなく、隅々まで明かりを照らして見ることのできる世界なのです。英語の語について正しい知識をもつと、母国語話者と同じ感覚で英語の語が見えるようになり、英語が借り物でなく、自分のものとなります。このコースではいろいろな話やクイズでもって、楽しみながら英語の語について教えたいと思います。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

テキストは毎回配布しますので、できるだけレギュラーに出席することを勧めます。すべて一回で使い切りのテキストでそれがすめばクラスを終えますので、ただらした授業はしません。テキストをファイルすることを勧めます。

評価方法・基準講義スケジュールテキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 玉木 佳代子

講義内容・テーマ

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の人称変化、名詞・冠詞の格変化を中心にした基本中の基本を習得することを目標とします。原則として、週2回の授業を同一の日本人教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点と最終講義試験による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

文法と簡単な読章、練習問題からなる総合的なテキストを使用します。適宜プリントを補います。具体的な指示は後期開講時に指示します。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 玉木 佳代子

講義内容・テーマ

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の人称変化、名詞・冠詞の格変化を中心にした基本中の基本を習得することを目標とします。原則として、週2回の授業を同一の日本人教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点と最終講義試験による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テスト

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

文法と簡単な読章、練習問題からなる総合的なテキストを使用します。適宜プリントを補います。具体的な指示は後期開講時に指示します。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 GABRIELE C. KAGOSIMA

講義内容・テーマ

挨拶から始まって、自己紹介をし、相手のことを尋ねるといった基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。「基礎」の授業で習う文法事項の理解の上に立って的確な表現を身につけましょう。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点評価による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

後期開講時に指示します。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 BEATE MUELLER

講義内容・テーマ

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

平常点評価による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

後期開講時に指示します。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 BEATE MUELLER

講義内容・テーマ

「表現1」で身につけた基本的な表現能力を発展させ、より複雑なコミュニケーションを可能とする力の養成を目標とします。動詞の格支配や前置詞の使い方に習熟し、現在および過去の事柄や体験・今後の計画や可能性などをどう表現するかを学びます。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点評価による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

「表現1」で使用した「Szenen 1」(三修社)の後半部。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 GABRIELE C. KAGOSIMA

講義内容・テーマ

「表現1」で身につけた基本的な表現能力を発展させ、より複雑なコミュニケーションを可能とする力の養成を目標とします。動詞の格支配や前置詞の使い方に習熟し、現在および過去の事柄や体験・今後の計画や可能性などをどう表現するかを学びます。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点評価による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

「表現1」で使用した「Szenen 1」(三修社)の後半部。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 BEATE MUELLER

講義内容・テーマ

「表現1」で身につけた基本的な表現能力を発展させ、より複雑なコミュニケーションを可能とする力の養成を目標とします。動詞の格支配や前置詞の使い方に習熟し、現在および過去の事柄や体験・今後の計画や可能性などをどう表現するかを学びます。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点評価による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

「表現1」で使用した「Szenen 1」(三修社)の後半部。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 DETLEF KOEHN

講義内容・テーマ

「表現1」で身につけた基本的な表現能力を発展させ、より複雑なコミュニケーションを可能とする力の養成を目標とします。動詞の格支配や前置詞の使い方に習熟し、現在および過去の事柄や体験・今後の計画や可能性などをどう表現するかを学びます。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点評価による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

「表現1」で使用した「Szenen 1」(三修社)の後半部。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 玉木 佳代子

講義内容・テーマ

「基礎」で学習した文法事項・構文の知識を確実なものにしつつ、新たな知識を積み上げ、基本的な文法事項をすべて学習します。これによって、独和辞典を引きながら少し長い文章を読めるレベルに到達することになります。原則として、週2回の授業を同一の日本人教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

出席状況、授業への積極的参加、小テストなどによる日常点評価に加えて、定期試験を実施します。この試験は1年間のドイツ語学習の到達度を検証するもので、ドイツ語検定4級レベルのものです。

講義スケジュール

内 容

キーワード

授業の運営方法などについては各担当者より説明します。

テキスト

「基礎」で使用した「ドイツ16州ものがたり」(朝日出版社)を引き続き使用。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 玉木 佳代子

講義内容・テーマ

「基礎」で学習した文法事項・構文の知識を確実なものにしつつ、新たな知識を積み上げ、基本的な文法事項をすべて学習します。これによって、独和辞典を引きながら少し長い文章を読めるレベルに到達することになります。原則として、週2回の授業を同一の日本人教員が担当します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

出席状況、授業への積極的参加、小テストなどによる日常点評価に加えて、定期試験を実施します。この試験は1年間のドイツ語学習の到達度を検証するもので、ドイツ語検定4級レベルのものです。

講義スケジュール

内 容

キーワード

授業の運営方法などについては各担当者より説明します。

テキスト

「基礎」で使用した「ドイツ16州ものがたり」(朝日出版社)を引き続き使用。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

初修重視コース 受講者が「基礎」「表現1」と並行して受ける科目です。この両科目で十分時間のとれないドリルによる反復練習や視聴覚教材による学習を行い、ドイツ語の知識を実践的に応用可能なレベルまで引き上げることを目標とします。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点と最終講義試験による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業の運営方法などについては担当者より授業の初回に説明します。	

テキスト

特定のテキストは使用せず、適宜プリントを配布します。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

初修重視コース 受講者が「展開」「表現2」と並行して受ける科目です。この両科目で十分時間のとれないドリルによる反復練習や視聴覚教材による学習を行い、強化と補強によりドイツ語の知識を実践的に応用可能なレベルまで引き上げることを目標とします。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点と最終講義試験による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

「総合1」で使用した「ALLES GUTE!」を引き続き使います。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

初修重視コース 受講者が「展開」「表現2」と並行して受ける科目です。この両科目で十分時間のとれないドリルによる反復練習や視聴覚教材による学習を行い、強化と補強によりドイツ語の知識を実践的に応用可能なレベルまで引き上げることを目標とします。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

平常点と最終講義試験による。平常点とは、出席状況、授業への積極的参加、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業の運営方法などについては各担当者より説明します。	

テキスト

「総合1」で使用した「ALLES GUTE!」を引き続き使います。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 久津内 一雄

講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語の初級フランス語の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	
定期試験80%		
日常点評価20%		

講義スケジュール

内 容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

エメ・ヴー・ラ・フランス、コーセイ・オグラ他、第三書房、生協書籍部で販売

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 久津内 一雄

講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語の初級フランス語の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	
定期試験 80 %		
日常点評価 20 %		

講義スケジュール

内 容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

エメ・ヴー・ラ・フランス、コーセイ・オグラ他、第三書房、生協書籍部で販売

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 1以上
 担当教員 宇野木 めぐみ

講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語の初級フランス語の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	
定期試験80%		
日常点評価20%		

講義スケジュール

内 容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

エメ・ヴー・ラ・フランス、コーセイ・オグラ他、第三書房、生協書籍部で販売

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 久津内 一雄

講義内容・テーマ

フランス語中級文法と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	
定期試験 80 %		
日常点評価 20 %		

講義スケジュール

内 容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・コンセールを使用する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 宇野木 めぐみ

講義内容・テーマ

フランス語中級文法と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	
定期試験80 %		
日常点評価20 %		

講義スケジュール

内 容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画、
初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

平常点 (授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 100%

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。
併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

平常点 (授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 100%

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。
併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 MARIE-CLAIRE LAVELLE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

平常点 (授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。) : 100%

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。
併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。
対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Girardet, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international
ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 MARIE-CLAIRE LAVELLE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。
対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Girardet, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international
ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。
対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 MARIE-CLAIRE LAVELLE

講義内容・テーマ

基本的な語彙を定着させる。
フランスに旅行したり又は長期滞在した場合に、フランスの日常生活で起こりうる様々な問題に対処できるようにする。
対立しあう意見を生んでいる諸々の討論の分析を通じて、フランス社会について考察する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

平常点(授業中に行われる様々な練習の理解度、参加度などから総合的に判断する。):100%

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

参考書

Nouveau sans Frontiere 1 / Philippe Girardet, Jacky Girardet, Michel Verdelhan / CLE international
ISBN: 2090334495

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、
初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 久津内 一雄

講義内容・テーマ

フランス語初級文法と習得単語数1000語のフランス語初級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	
定期試験80%		
日常点評価20%		

講義スケジュール

内 容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

ミニ・デュ・コンセール、シルヴィ・フジワラ他、朝日出版、生協書籍部で販売。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 久津内 一雄

講義内容・テーマ

フランス語初級文法の完成と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	
定期試験80 %		
日常点評価20 %		

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・コンセールを使用する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 久津内 一雄

講義内容・テーマ

フランス語初級文法の完成と習得単語数2000語のフランス語中級の語学力を育成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点 (小テスト)	20 %	

定期試験80%
 日常点評価20%

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細は各担当者より初回の授業で説明する。	

テキスト

フランス語総合1で使用したミニ・デュ・コンセールを使用する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 石黒 やすえ

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 塚田 亮太

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 大嶋 伸尚

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 今場 正美

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 石黒 やすえ

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュール

内 容キーワード

詳細については授業の初回に各担当者より説明します。

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 塚田 亮太

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 菅谷 音

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 今場 正美

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 大嶋 伸尚

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1以上

担当教員 松尾 洋二

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの、発音や基礎文法などを学習する授業で、週2回行う。正しい中国語の発音や声調、基本語彙、基本文形、基礎文法などを習得することを目標とする。授業は発音からスタートし、特に中国語の特徴と言われている巻き舌音や四声、存在文や補語構文などの基本項目に重点を置きながら授業展開を行っていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニカティブ中国語?) 立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 石黒 やすえ

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 塚田 亮太

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 松尾 洋二

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 今場 正美

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 大嶋 伸尚

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)の「中国語・基礎」を終了した2回生の学生を対象とし、「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。週2回行う。中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の2回分に当たる。主として文法事項を学習する。

評価方法・基準

- * 定期試験として実施
 - * 日常点評価
- 平常点と統一筆記試験を総合して判断する。

講義スケジュールテキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 武 継平

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者より説明します。	

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 趙 ニーナ

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

*日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

詳細については授業の初回に各担当者より説明します。

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 周 宝玲

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者より説明します。	

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 文 楚雄

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者より説明します。	

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 趙 ニーナ

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

*日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者より説明します。	

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 周 宝玲

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

*日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者より説明します。	

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 文 楚雄

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者より説明します。	

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

詳細については授業の初回に各担当者より説明します。

テキスト

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位)及び英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回又は週3回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

* 日常点評価

出席点や日常的な取り組みを重視しながら最後の1回分の授業に相当するまとめ的な課題(最終講義日試験等)を課す。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

詳細については授業の初回に各担当者より説明します。

テキスト

(コミュニケーション中国語?) 立命館大学中国語部会編

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 武 継平

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 趙 ニーナ

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 周宝玲

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 文 楚雄

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 武 継平

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 趙 ニーナ

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 周宝玲

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 文 楚雄

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

(初修重視コース)この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な会話を学習していく。週1回行う。

(英語重視コース)この授業は、英語重視コース(4単位コース)クラスの授業で、「中国語・表現1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・基礎」と「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

(初修重視コース)

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話を学習する。

(英語重視コース)

英語重視コース(4単位コース)2回生のクラスではこの授業だけである。

評価方法・基準

* 日常点評価

平常点と最終講義日口頭試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(初修重視コース)

(コミュニケーション中国語)立命館大学中国語部会編

(英語重視コース)

(中国語10課)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 尾崎 和子

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(中国語10課) 白水社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 大嶋 伸尚

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(中国語10課) 白水社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 鷲尾 祐子

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(中国語10課) 白水社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 嶋田 恭子

講義内容・テーマ

この授業は、一回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」や「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な基本会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(中国語10課) 白水社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 浦元 里花

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(簡明・中文システム15) 荒川清秀著 同学社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 大嶋 伸尚

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(簡明・中文システム15) 荒川清秀著 同学社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 嶋田 恭子

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(簡明・中文システム15) 荒川清秀著 同学社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 鷲尾 祐子

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(簡明・中文システム15) 荒川清秀著 同学社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 尾崎 和子

講義内容・テーマ

この授業は、初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・基礎」、「中国語・表現1」、「中国語・総合1」を終了した2回生の学生を対象とする。「中国語・展開」などの授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、日常会話やコミュニケーションに必要な会話やリスニングに重点を置きながら、総合的な運用能力を高めていく。週1回行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

週4回連携授業の内の1回分に当たる。主として日常会話やリスニングの練習を行う。

評価方法・基準

* 日常点評価
平常点と最終講義日リスニング試験を総合して判断する。

講義スケジュール

テキスト

(簡明・中文システム15) 荒川清秀著 同学社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 仲井 邦佳

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。

!Taxi! (タクシーに乗る)

Soy de Japon (ホテルに泊まる)

?Como estas? (入学手続き)

?Hablas espanol? (自己紹介)

?Tienes tiempo? (学校での会話)

?Te gusta el futbol? (友人との会話)

Nuestro equipo es mas fuerte (サッカー観戦)

Hable con el (過去のことを語る)

Quise ser traductora (過去のことを語る)

Cuendo era nina... (過去のことを語る・買い物)

Hace mucho calor (天候・体験について語る)

?De que estais hablando? (日付について語る)

試験

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『生き活きスペイン語』	福嶋教隆 / 朝日出版 / 4-255-55013-1

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-60006776
(a) 『西和中辞典』	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9
(b) 『現代スペイン語辞典(改訂版)』	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8
(c) 『プログレッシブスペイン語辞典』	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(c)でも可。授業でも担当者が紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

注意：後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 井上 幸孝

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。

!Taxi! (タクシーに乗る)

Soy de Japon (ホテルに泊まる)

?Como estas? (入学手続き)

?Hablas espanol? (自己紹介)

?Tienes tiempo? (学校での会話)

?Te gusta el futbol? (友人との会話)

Nuestro equipo es mas fuerte (サッカー観戦)

Hable con el (過去のことを語る)

Quise ser traductora (過去のことを語る)

Cuendo era nina... (過去のことを語る・買い物)

Hace mucho calor (天候・体験について語る)

?De que estais hablando? (日付について語る)

試験

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『生き活きスペイン語』	福嶋教隆 / 朝日出版 / 4-255-55013-1

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-60006776
(a) 『西和中辞典』	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9
(b) 『現代スペイン語辞典(改訂版)』	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8
(c) 『プログレッシブスペイン語辞典』	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(c)でも可。授業でも担当者が紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

注意：後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 藪中 暁、田中 由美

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。

!Taxi! (タクシーに乗る)

Soy de Japon (ホテルに泊まる)

?Como estas? (入学手続き)

?Hablas español? (自己紹介)

?Tienes tiempo? (学校での会話)

?Te gusta el futbol? (友人との会話)

Nuestro equipo es mas fuerte (サッカー観戦)

Hable con el (過去のことを語る)

Quise ser traductora (過去のことを語る)

Cuendo era nina... (過去のことを語る・買い物)

Hace mucho calor (天候・体験について語る)

?De que estais hablando? (日付について語る)

試験

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『生き活きスペイン語』	福嶋教隆 / 朝日出版 / 4-255-55013-1

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-60006776
(a) 『西和中辞典』	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9
(b) 『現代スペイン語辞典(改訂版)』	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8
(c) 『プログレッシブスペイン語辞典』	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(c)でも可。授業でも担当者が紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

注意：後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 井上 幸孝

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。

文字・発音・音節の分け方・読み方の指針

名詞の性・名詞の数

冠詞・形容詞

主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在

hayの用法・規則動詞の直説法現在

所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞

語根母音変化動詞・その他の不規則動詞

疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法

目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞

時刻の表現・日付の表現・副詞

再帰代名詞・現在分詞・感嘆文

直説法点過去・過去分詞

試験 注意：後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。

併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同友社 / 4-8102-0360-3

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-60006776
西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9
現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(c)でも可。授業でも担当者が紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 田中 由美

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。

文字・発音・音節の分け方・読み方の指針

名詞の性・名詞の数

冠詞・形容詞

主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在

hayの用法・規則動詞の直説法現在

所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞

語根母音変化動詞・その他の不規則動詞

疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法

目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞

時刻の表現・日付の表現・副詞

再帰代名詞・現在分詞・感嘆文

直説法点過去・過去分詞

試験 注意：後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。

併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同友社 / 4-8102-0360-3

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-60006776
西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9
現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(c)でも可。授業でも担当者が紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS、村上 由利子

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。	
文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
名詞の性・名詞の数	
冠詞・形容詞	
主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
hayの用法・規則動詞の直説法現在	
所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
時刻の表現・日付の表現・副詞	
再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
直説法点過去・過去分詞	
試験 注意：後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。	
併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同友社 / 4-8102-0360-3

参考書	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-60006776
	西和中辞典	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9
	現代スペイン語辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8
	プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(c)でも可。授業でも担当者が紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 1以上
 担当教員 平井 うらら、寺本 あけみ

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの前半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもあ

!Taxi! (タクシーに乗る)

Soy de Japon (ホテルに泊まる)

?Como estas? (入学手続き)

?Hablas espanol? (自己紹介)

?Tienes tiempo? (学校での会話)

?Te gusta el futbol? (友人との会話)

Nuestro equipo es mas fuerte (サッカー観戦)

Hable con el (過去のことを語る)

Quise ser traductora (過去のことを語る)

Cuendo era nina... (過去のことを語る・買い物)

Hace mucho calor (天候・体験について語る)

?De que estais hablando? (日付について語る)

試験

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『生き活きスペイン語』	福嶋教隆 / 朝日出版 / 4-255-55013-1

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-60006776
(a) 『西和中辞典』	桑名一博、他 / 小学館 / 4-09-515501-9
(b) 『現代スペイン語辞典(改訂版)』	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00046-8
(c) 『プログレッシブスペイン語辞典』	鼓直、他 / 小学館 / 4-09-515522-1

辞書は上記のいずれかを購入すること。(a)か(b)が語彙数も多く、望ましい。英語重視コースなら(c)でも可。授業でも担当者が紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

注意：後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 仲井 邦佳

講義内容・テーマ

スペイン語基礎に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。受講生全員がスペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。

直説法点過去(規則活用)、他

直説法点過去(不規則活用)、他

直説法線過去、他

直説法過去完了、他

直説法未来、他

直説法過去未来、他

接続法現在の活用

接続法現在の用法(命令)

接続法現在の用法(名詞節)

接続法現在の用法(形容詞節)

接続法現在の用法(独立文)

命令法、他

試験

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『やさしくかわいいスペイン語の基礎』	西川喬 / 第三書房 / 4-8086-3021-4

2004年度『スペイン語基礎』で使用したテキストを継続使用する。

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『和西辞典(改訂版)』	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6
『スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集』	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 井上 幸孝

講義内容・テーマ

スペイン語基礎に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。受講生全員がスペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。

直説法点過去(規則活用)、他

直説法点過去(不規則活用)、他

直説法線過去、他

直説法過去完了、他

直説法未来、他

直説法過去未来、他

接続法現在の活用

接続法現在の用法(命令)

接続法現在の用法(名詞節)

接続法現在の用法(形容詞節)

接続法現在の用法(独立文)

命令法、他

試験

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『やさしくかわいいスペイン語の基礎』	西川喬 / 第三書房 / 4-8086-3021-4

2004年度『スペイン語基礎』で使用したテキストを継続使用する。

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『和西辞典(改訂版)』	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6
『スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集』	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照

担当教員 井上 幸孝、村上 由利子

講義内容・テーマ

スペイン語基礎に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。受講生全員がスペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。

直説法点過去(規則活用)、他

直説法点過去(不規則活用)、他

直説法線過去、他

直説法過去完了、他

直説法未来、他

直説法過去未来、他

接続法現在の活用

接続法現在の用法(命令)

接続法現在の用法(名詞節)

接続法現在の用法(形容詞節)

接続法現在の用法(独立文)

命令法、他

試験

テキスト

書名	著者/出版社/ISBNコード
『やさしくかわいいスペイン語の基礎』	西川喬/第三書房/4-8086-3021-4

2004年度『スペイン語基礎』で使用したテキストを継続使用する。

参考書

書名	著者/出版社/ISBNコード
『和西辞典(改訂版)』	宮城昇、他/白水社/4-560-00047-6
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平/白水社/4-560-00677-6
『スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集』	立岩礼子、他/南雲堂フェニックス/4-88896-251-0

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 井上 幸孝、田中 由美

講義内容・テーマ

スペイン語基礎に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。受講生全員がスペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
授業、テキスト、参考書、評価方法等についての説明。以下のようにテキストに沿って進めるが、コピー等も適宜配布し、補足する。テキストの後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は変更することもある。	
直説法点過去(規則活用)、他	
直説法点過去(不規則活用)、他	
直説法線過去、他	
直説法過去完了、他	
直説法未来、他	
直説法過去未来、他	
接続法現在の活用	
接続法現在の用法(命令)	
接続法現在の用法(名詞節)	
接続法現在の用法(形容詞節)	
接続法現在の用法(独立文)	
命令法、他	
試験	

テキスト

書名	著者/出版社/ISBNコード
『やさしくかわいいスペイン語の基礎』	西川喬/第三書房/4-8086-3021-4

2004年度『スペイン語基礎』で使用したテキストを継続使用する。

参考書

書名	著者/出版社/ISBNコード
『和西辞典(改訂版)』	宮城昇、他/白水社/4-560-00047-6
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平/白水社/4-560-00677-6
『スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集』	立岩礼子、他/南雲堂フェニックス/4-88896-251-0

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ANALIA VITALE

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 ANALIA VITALE

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な語彙、表現を習得する。日常生活や旅行での様々な状況に対応できる会話能力を身に付けることを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS

講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS

講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ANALIA VITALE

講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ANALIA VITALE

講義内容・テーマ

スペイン語・表現1の継続である。語彙力をいっそう強化し、より複雑な表現ができるように努める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので学部掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的なコミュニケーション能力を身に付ける。同時にスペイン語圏について理解を深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 ANALIA VITALE

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的なコミュニケーション能力を身に付ける。同時にスペイン語圏について理解を深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的なコミュニケーション能力を身に付ける。同時にスペイン語圏について理解を深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

注意:オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS

講義内容・テーマ

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

これら情報は授業中に担当者が指示する。

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照

担当教員 JORDI JUSTE GARRIGOS

講義内容・テーマ

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

これら情報は授業中に担当者が指示する。

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 ARTURO ESCANDON

講義内容・テーマ

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

これら情報は授業中に担当者が指示する。

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 VALLS CAMPA LLUIS

講義内容・テーマ

スペイン語・総合1の継続である。より高度なコミュニケーション能力習得を目指す。スペイン語圏について理解を更に深めることも目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

2回生前期の開始前にクラス変更を行っているので掲示板で確認のこと。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

詳しくは担当者から説明する。

講義スケジュール

内容	キーワード
担当者から指示する。	

テキスト

担当者から指示する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

これら情報は授業中に担当者が指示する。

その他

注意: 外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 嚴 敬俊

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習して、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることが出来るようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
 担当教員 文 京洙

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習して、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることが出来るようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 松井 聖一郎

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習して、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることが出来るようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 梁 貞模

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習して、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることが出来るようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
-----	-------

詳細については授業の初回に各担当者から説明する。

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 松井 聖一郎

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習して、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることが出来るようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

詳細については授業の初回に各担当者から説明する。-----

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期集中

単位数 2

配当回生 1以上

担当教員 文 京洙

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の習得と発音の練習に始まり、朝鮮語を理解するために必要な基礎的文法事項を学習して、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることが出来るようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定5級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 嚴 敬俊

講義内容・テーマ

「基礎」で学んだ朝鮮語の文法的知識をよりいっそう確実なものとするともに、それを補充していき、やや長い文章の要点を読み取り、学習した文法的知識を用いてある程度まとまった文章を書くことができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
----	-------

詳細については授業の初回に各担当者から説明する。-----

テキスト

『やさしいハングル2』生協印刷

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期集中 単位数 2 配当回生 時間割等参照
担当教員 嚴 敬俊

講義内容・テーマ

「基礎」で学んだ朝鮮語の文法的知識をよりいっそう確実なものとするともに、それを補充していき、やや長い文章の要点を読み取り、学習した文法的知識を用いてある程度まとまった文章を書くことができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル2』生協印刷

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期集中

単位数 2

配当回生 時間割等参照

担当教員 松井 聖一郎

講義内容・テーマ

「基礎」で学んだ朝鮮語の文法的知識をよりいっそう確実なものとするとともに、それを補充していき、やや長い文章の要点を読み取り、学習した文法的知識を用いてある程度まとまった文章を書くことができるようにする。表現、総合の授業などとも連携しながらハングル検定4級の合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル2』生協印刷

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア、外国語コミュニケーションルーム企画、初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 李 雨洲

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や、自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 盧 載玉

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や、自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 金 仁姫

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や、自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 李 雨洲

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や、自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 金 河元

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や、自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
 担当教員 梁 貞模

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や、自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

ハングルを習い始めた初歩の段階。前半は、基礎の授業と連携して文字と発音を行う。後半は、慣用的な言い回しを用いた挨拶や、自己紹介、場面や状況に応じての質問・依頼・対応、数にまつわる会話表現などを学習する。基礎、総合の授業と連携してハングル検定5級合格を目指す。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

『やさしいハングル』新幹社

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

後期オリエンテーション期間に実施する語種別ガイダンス(法・産社向け)への参加をもって後期外国語科目授業の1回分とします。併せて、?外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア?外国語コミュニケーションルーム企画などに参加して下さい。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 金 河元

講義内容・テーマ

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

「やさしいハングル2」生協印刷

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 金 河元

講義内容・テーマ

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 李 雨洲

講義内容・テーマ

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

「やさしいハングル2」生協印刷

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 梁 貞模

講義内容・テーマ

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

「やさしいハングル2」生協印刷

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 嚴 敬俊

講義内容・テーマ

これまでに学んだハングルの会話の基礎を活用しながら、状況や場面に応じて自分の意思を適切に伝えることができるようにする。自己を紹介したり、興味のあるものやところや他の人について話したりするなど、さまざまな場面やトピックスを設定して会話のやり取りを練習し、表現力のレベルアップを図る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

内容	キーワード
詳細については授業の初回に各担当者から説明する。	

テキスト

「やさしいハングル2」生協印刷

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

外国留学ガイダンスや異文化体験報告会、留学フェア 外国語コミュニケーションルーム企画 初修検定試験などの参加をもって外国語科目授業の1回分とします。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 山下 英愛

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

テキスト

プリントを授業で配布する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 鄭 雅英

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

テキスト

プリントを授業で配布する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
担当教員 盧 載玉

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

* 日常点評価

出席を重視し、随時行う小テスト、期末テスト、授業態度など総合的に評価する。

講義スケジュール

テキスト

参考書

プリントを授業で配布する。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 松井 聖一郎

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点(小テスト)	15 %	小テストの評価10%、授業態度など5%
その他	5 %	出席点

講義スケジュール

内 容	キーワード
へヨ体の復習と過去形	
数・買い物・時間・日付など	
否定形	
過去形と接続語尾2	
さまざまな接続語尾を使って文を作る練習	
尊敬表現	
現在・過去連体形	
未来連体形	
漢字起源の単語(1)・気分と気持ちを表現する	
漢字起源の単語(2)・さまざまな思いを伝える	
漢字起源の単語(3)・思ったこと・感じたことを述べる	
漢字起源の単語(4)・意見の表現の仕方まとめ	
復習	
テスト	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	やさしいハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9

テキスト以外に適宜プリント教材などを使います

参考書	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	自分のすべてを韓国語で口のできる本	小倉星香 / アルク / 4-7574-0171-X
	ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典	油谷幸利 / 小学館 / 4-09-506141-3
	使える韓国語単語6500	田星姫 / ベレ出版 / 4-86064-027-6

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 李 雨洲

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点(小テスト)	15 %	小テストの評価10%、授業態度など5%
その他	5 %	出席点

講義スケジュール

内 容	キーワード
へヨ体の復習と過去形	
数・買い物・時間・日付など	
否定形	
過去形と接続語尾2	
さまざまな接続語尾を使って文を作る練習	
尊敬表現	
現在・過去連体形	
未来連体形	
漢字起源の単語(1)・気分と気持ちを表現する	
漢字起源の単語(2)・さまざまな思いを伝える	
漢字起源の単語(3)・思ったこと・感じたことを述べる	
漢字起源の単語(4)・意見の表現の仕方まとめ	
復習	
テスト	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	やさしいハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9

テキスト以外に適宜プリント教材などを使います

参考書	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	自分のすべてを韓国語で口のできる本	小倉星香 / アルク / 4-7574-0171-X
	ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典	油谷幸利 / 小学館 / 4-09-506141-3
	使える韓国語単語6500	田星姫 / ベレ出版 / 4-86064-027-6

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 時間割等参照
 担当教員 金 河元

講義内容・テーマ

復習や反復練習、文法説明の補足などによって、基礎と表現1の授業をサポートする。さらに言語の背景となる、社会、歴史の解説、ビデオ鑑賞などを通じて、韓国社会の総合的な理解を深める。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	80 %	
日常点(小テスト)	15 %	小テストの評価10%、授業態度など5%
その他	5 %	出席点

講義スケジュール

内 容	キーワード
へヨ体の復習と過去形	
数・買い物・時間・日付など	
否定形	
過去形と接続語尾2	
さまざまな接続語尾を使って文を作る練習	
尊敬表現	
現在・過去連体形	
未来連体形	
漢字起源の単語(1)・気分と気持ちを表現する	
漢字起源の単語(2)・さまざまな思いを伝える	
漢字起源の単語(3)・思ったこと・感じたことを述べる	
漢字起源の単語(4)・意見の表現の仕方まとめ	
復習	
テスト	

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
やさしいハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-043-9

テキスト以外に適宜プリント教材などを使います

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
自分のすべてを韓国語で口にできる本	小倉星香 / アルク / 4-7574-0171-X
ポケットプログレッシブ韓日・日韓辞典	油谷幸利 / 小学館 / 4-09-506141-3
使える韓国語単語6500	田星姫 / ベレ出版 / 4-86064-027-6

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2以上
担当教員 玉木 佳代子

講義内容・テーマ

上級レベルのテキストを、様々な分野からプリントとして用意します。受講者が興味のあるテーマなどは積極的に取り入れたいと思いますので、遠慮なく提案してください。読解力を伸ばしていくことを中心としますが、視聴覚教材を適宜に利用し、ドイツ語の総合的レベルアップを目指します。文法の補足も随時行います。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

基本的な文法を理解している事。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	50 %	
日常点 (小テスト)	50 %	出席状況、課題提出、授業への積極的な参加などを評価します。

講義スケジュール

内容	キーワード
別途指示する。	

テキスト

プリントを配布。

参考書

授業中に指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

授業中に指示する。

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 玉木 佳代子

講義内容・テーマ

ドイツ語によるコミュニケーション能力の育成を目指します。日常会話の表現で、聴く力と話す力を伸ばします。又、簡単な文章を読み書きすることも練習していきます。ビデオやCDといった視聴覚教材も取り入れ、ドイツ語を総合的に学ぶことを目標とします。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

既習者

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	50 %	
日常点(小テスト)	50 %	出席状況、課題提出、授業への積極的な参加などを評価します。

講義スケジュール

内容	キーワード
別途に指示する。	

テキスト

プリントを配布。

参考書

授業中に指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

授業中に指示する。

その他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2以上

担当教員 竹治 進

講義内容・テーマ

読解・聞き取り・表現(話す、書く)をスムーズに行うためには一定数以上の語彙(単語、言い回し)を持っていることが必要です。この授業ではその語彙を増やすことを目標とします。教材としては印刷されたものに加えて音声と映像によるものをできるだけ多く使うようにします。使用頻度の高い単語・言い回しについてはドリル練習により確実な使用レベルにまで到達することを目指します。ドイツ語検定レベルで言えば3級以上2級目標とします。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

既習者コース中級を履修した人が対象です。ドイツ語検定3級をまだ受けていない人は6月に受験し、11月の2級を目指しましょう。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

日常点評価に加えて最終講義試験も実施しますが、日常点の比重を大きくします。日常点とは、出席、積極的参加(練習時の声の大きさを含む)、小テストなどです。

講義スケジュール

内容	キーワード
別途に指示する。	

テキスト

プリント配布

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

留学ガイダンス、留学フェア、コミュニケーションルームでのドイツ語フェスタなどの催し物のうちひとつ以上に参加してください。それを1回の授業とします。交換留学にも積極的に挑戦してください。

授業開講期間	後期	単位数	1	配当回生	1以上
担当教員	竹治 進				

講義内容・テーマ

現代ドイツ人の思考と生活は日本人的な視点から眺めるとどんな特徴があるのか。そんな切り口で書かれた文章を読むことによってドイツ語の読解力を養い、文法の復習をし、いろんな練習によって表現力を身につけることを目標とした授業です。

受講者全員が到達すべき目安として、実際に受験するしないに関わらず独検3級水準を設定しています。そして、受験のための練習も加味した授業とする予定です。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

大学入学前に既にドイツ語を一定程度学習したうえで前期に週2回か3回ドイツ語の授業を受講した人のための授業であり、ドイツ語の基礎的な力があることを前提とした授業です。とはいえ「基礎的な力」にも個人差があることですから、理解不十分な点についての質問、進度・難度、教材に関する要望などは率直に伝えてください。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

最終講義試験も行いますが、むしろ日常点に大きな比重を置くことと理解してください。日常点とは、出席状況、授業への積極的参加の度合い、小テストなどです。

講義スケジュール

内 容	キーワード
導入。受講者の力を知るための小テスト	
トイレでノックはするな	
ドイツ人と音	
ドイツ人はケチ？	
ドイツ人のジョーク。小テスト1	
割り勘	
ドイツ人とサンドイッチ	
ドイツ人の時間感覚。小テスト2	
保守と革新	
客はどこに座らせる。小テスト3	
遅れてきたとき、どのように着席するのか？	
使いやすい表現と使いにくい表現	
働いてばかりはられない小テスト4	
まとめと最終講義試験	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	ドイツ語読み方教室	大谷弘道・Ursula Otani / 三修社 / 4-384-13068-6 C1084

参考書	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	必携 ドイツ文法総まとめ	中島・平尾・朝倉 / 白水社 /

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

Deutsche Welle <http://www.dw-world.de>

その他

留学ガイダンス、留学フェア、コミュニケーションルームでのドイツ語フェスタなどの催し物のうちひとつ以上に参加してください。それを1回の授業とします。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
 担当教員 玉木 佳代子

講義内容・テーマ

これまでに学んだ文法や語彙を活用し、ドイツ語での表現力(話す、書く)と読解力を、総合的に伸ばしていくことを目標とします。視聴覚教材を取り入れ、「聴く」練習をし、実用的なドイツ語を学びます。様々な分野のテキストをプリントで用意しますが、興味があるテーマなど、受講者の希望も積極的に取り入れていきます。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	50 %	
日常点 (小テスト)	50 %	出席状況、課題提出、授業への積極的な参加などを評価します。

講義スケジュール

内容	キーワード
別途に指示する。	

テキスト

プリントを配布。

参考書

授業中に指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

授業中に指示する。

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1以上
 担当教員 村本 容子

講義内容・テーマ

視聴覚教材およびインターネットなどを用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	30 %	最終講義試験(筆記試験)
日常点(小テスト)	70 %	出席、発表、小テスト等

最終講義試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

講義スケジュール

内 容 キーワード

授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト、VTR

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト、VTR

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト、VTR

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

文法の復習、聞き取り練習、単語テスト

最終講義試験

テキスト

プリントを適宜配布

参考書

第1回の授業において参考図書リスト(文法参考書・独検対策問題集など)を配布。希望者のみ購入。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。これらを使って簡単な練習問題を解いてもらいます(テストではありません！)

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
 担当教員 村本 容子

講義内容・テーマ

視聴覚教材およびインターネットなどを用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	30 %	最終講義試験(筆記試験)
日常点(小テスト)	70 %	出席、発表、小テスト等

最終試験(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(最終講義試験30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

講義スケジュール

内 容	キーワード
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト、VTR	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト、VTR	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト、VTR	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト	
日常表現の練習、聞き取り練習、単語テスト、VTR	
最終講義試験	

テキスト

プリントを適宜配布

参考書

授業で適宜指示する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2以上

担当教員 GABRIELE C. KAGOSIMA

講義内容・テーマ

Die Studenten sollen Alltagsdeutsch lernen und mehr ueber Deutschland erfahren, z.B. ueber Hotels, Kleidung, Einkaufen, Schule. Mit CDs, Videos und Hoercassetten wird Hoerverstaendnis eingeuebt. Fuer Sprechuebungen werden Lernspiele, Partnerarbeit, Gruppenarbeit und Rollenspiele eingesetzt.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Regelmaessige Teilnahme am Unterricht ist notwendig. Haeufige Abwesenheit beeinflusst die Note etwas negativ. Muendliche aktive Teilnahme bereitet gut auf die Abschlusspruefung vor. Schrift-liche und Hoerverstaendnis-Hausaufgaben fuehren zu guten Ergebnissen in schriftlichen Tests.

評価方法・基準

Nach jeder Lektion werden kleine Hoerverstaendnistests und kurze Tests ueber Dialoge geschrieben. Dies und freiwillig abgegebene Hausaufgaben ergeben 66,6 % der Semesternote. Am Ende des Semesters gibt es eine muendliche Pruefung, die man gut vorbereiten kann. Diese zaehlt 33,3 % Der Semesternote.

講義スケジュールテキスト

Lehrbuch : Szenen 2, neu, Sanshusha Verlag, 2900 Yen (mit CD)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 1以上

担当教員 GABRIELE C. KAGOSIMA

講義内容・テーマ

Die Studenten sollen Alltagsdeutsch lernen und mehr ueber Deutschland erfahren, z.B. ueber Hobbys, Essen, Wohnen, Studium. Mit CDs, Videos, Hoercassetten wird Hoerverstaendnis eingeuebt. Fuer Sprechuebungen werden Lernspiele, Partnerarbeit, Gruppenarbeit und Rollen-spiele eingesetzt.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Regelmaessige Teilnahme am Unterricht ist notwendig. Haeufige Abwesenheit beeinflusst die Note etwas negativ. Muendliche aktive Teilnahme bereitet gut auf die Abschlusspruefung vor. Schriftliche und Hoerverstaendnis-Hausaufgaben fuehren zu guten Ergebnissen in schriftlichen Tests.

評価方法・基準

Nach jeder Lektion werden kleine Hoerverstaendnistests und kurze Tests ueber Dialoge geschrieben. Dies und freiwillig abgegebene Hausaufgaben ergeben 66,6 % der Semester-note. Am Ende des Semesters gibt es eine muendliche Pruefung, die man gut vorbereiten kann. Diese zaehlt 33,3 % der Semesternote.

講義スケジュールテキスト

Lehrbuch : Szenen 1 , neu, Sanshusha Verlag, 2900 Yen (mit CD)

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 GABRIELE C. KAGOSIMA

講義内容・テーマ

Die Studenten sollen Alltagsdeutsch lernen und mehr ueber Deutschland erfahren, z.B. ueber Hobbys, Essen, Wohnen, Studium. Mit CDs, Videos, Hoercassetten wird Hoerverstaendnis eingeuebt. Fuer Sprechuebungen werden Lernspiele, Partnerarbeit, Gruppenarbeit und Rollen-spiele eingesetzt.

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

Regelmaessige Teilnahme am Unterricht ist notwendig. Haeufige Abwesenheit beeinflusst die Note etwas negativ. Muendliche aktive Teilnahme bereitet gut auf die Abschlusspruefung vor. Schriftliche und Hoerverstaendnis-Hausaufgaben fuehren zu guten Ergebnissen in schriftlichen Tests.

評価方法・基準

Nach jeder Lektion werden kleine Hoerverstaendnistests und kurze Tests ueber Dialoge geschrieben. Dies und freiwillig abgegebene Hausaufgaben ergeben 66,6 % der Semester-note. Am Ende des Semesters gibt es eine muendliche Pruefung, die man gut vorbereiten kann. Diese zaehlt 33,3 % der Semesternote.

講義スケジュール

テキスト

Lehrbuch : Szenen 1 , neu, Sanshusha Verlag, 2900 Yen (mit CD)

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2~8
 担当教員 野崎 次郎

講義内容・テーマ

フランス語で書かれた文章を辞書を引きながら独力で読めるようにする。長文に慣れるためには、人の訳を覚えても仕方ない。まず自分で訳してみる必要がある。授業ではあなた方自身に訳してもらってから、補足説明にはいる。補足説明のなかで、初級、中級段階でやり残したこと、曖昧なままにしておいたことなどをはっきり理解できるようにしたい。テキストは、フランスの文化や社会をテーマにしたものであり、フランス事情もあわせて知ることができるだろう。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	20 %	翻訳の課題を一本
日常点(小テスト)	80 %	最終講義試験、授業中の発表、出席点などの合計

予習は必ずすること。

講義スケジュール

内 容	キーワード
「フランス語圏」の多様性 / フランからユーロへ	
ドゴール空港の奇妙な住人 / フランスにおけるイスラム教	
女性の社会進出 / 上昇する出生率	
高齢化社会への対応 / 「TGV通勤」時代へ	
労働時間短縮の道のり / 記念日好きなフランス人	
フランス独自の高等教育機関 / 死刑制度の是非をめぐって	
徴兵制の廃止 / 原子力問題	
「ル・モンド」スキャンダル / 日仏マンガ交流	
インターネットの功罪 / 貴重な水資源	
フランスワインの内憂外患 / 世界遺産の修道院	
インターネットで読むフランス語 (1)	
インターネットで読むフランス語 (2)	
インターネットで読むフランス語 (3)	
最終講義試験	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	セレクション・時事フランス語 II	クリスチャン・ボームルーほか / 朝日出版社 / 4-255-35169-4

後半三分の一の授業では、インターネット上の新聞記事を読む。

参考書

授業中適宜紹介する。
 仏和辞典を必ず持参して下さい。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

野崎次郎のホームページ
<http://ha1.seikyoeu.ne.jp/home/jiro/>

その他

三分の一以上の欠席で自動的にアウトです。休まずに出席してください。
 遅刻は二回で一回欠席にカウントします。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1~8
担当教員 松尾 剛

講義内容・テーマ

すでに高校でフランス語をある程度学んだ既修者のために、より高度な文法事項を学習します。授業の詳細は講義スケジュールに明示してありますが、受講者の要望に応じて、内容を適宜変更・追加していくつもりです。下記の講義内容以外に、取り扱ってほしい文法事項などございましたら、遠慮無くおっしゃってください。

またこれと同時に、教科書を用いて初歩的な読解と聞き取りの訓練を行います。

最終的には受講生の皆さんに、フランス語に関する基本的な読み・聞き取りの力を身につけていただくことが、この授業の目標です。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

履修にあたっては、宿題が出された場合には、必ずやってくるようにしてください。

また授業には辞書を携行するようにしてください。その辞書が電子辞書が、書籍であるかは問いません。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

基本的には、普段の授業態度を重視します。また学習を確かなものにしていくために、授業中に小テストを行うことがあります。

なお、評価基準の詳細については変更の可能性がございますので、その際は授業中に必ず通知いたします。なにより日常点を重視しますので、積極的な授業参加を希望します。

最終講義日試験に付いては、定期試験への変更もありえますので、その際は必ず授業中に告知します。

講義スケジュール

内 容	キーワード
複合過去の復習	
半過去・大過去	
関係代名詞・序数	
補語人称代名詞と命令形	
現在分詞・ジェルマンディフ	
疑問代名詞・副詞	
受動態	
比較級・最上級	
強調構文・年号	
中性代名詞	
条件法	
接続法	
間接話法と時制の一致、前置詞と接続詞	
最終講義日試験	

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
Elle est gourmande! 2	藤田祐二 / 朝日出版社 / 4-255-35166-X

教科書は必ずご購入下さい。コピーなどによる受講はご遠慮願います。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2~8
 担当教員 湊野 ゆり子

講義内容・テーマ

教科書(「新・えすかるご2」)と適宜プリント教材を使用します。フランス語の動詞体系を中心に文法的な知識を整理すること、フランス文化に親しみ理解を深めること、自然なフランス語の表現に慣れること、聞き取ったフランス語を正確な綴りで書き取る能力を高めること、現在取得しているフランス語検定試験の級よりさらに上をめざして頑張れる力を蓄えること等々、総合的なフランス語運用能力の向上をめざして授業を進めます。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ごく基本的なフランス語の知識、仏和辞典の携行、積極的な授業参加が必要です。曖昧な点は放置せずに納得できるまで質問してください。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	出席状況、平常点(小テスト、発表など)、課題提出、最終講義日試験など。

授業の三分の一以上を欠席した者の単位取得は基本的に認められない。

講義スケジュール

内 容	キーワード
ガイダンス(教科書をどのように使って授業を進めるか、など)	
1課	補語人称代名詞
2課	代名動詞・単純未来
3課	関係代名詞・ジェロンディフ
予備	
4課	過去の時制
5課	受動態・中性代名詞
6課	条件法
予備	
7課	接続法
8課	直接話法と間接話法
9課	時の表現
予備	
最終講義日試験	

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
新・えすかるご2	藤田裕二 / 朝日出版社 / 4-255-35148-1

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間	後期	単位数	1	配当回生	1~8
担当教員	松尾 剛				

講義内容・テーマ

基礎的な文法力を身につけているフランス語既修者に、その知識を生かした読解力を身につけてもらうことが、この授業の目標です。授業では、これまでの文法事項を整理しつつ、易しいフランス語で書かれた長文を読んでもらいます。

また教科書を用いて、簡単な文法問題を解いていただきます。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

一通りの文法知識を身につけておくためにも、私(松尾剛)の担当する、前期の「フランス語中級表現読解(I)K」を履修しておくことが望ましいのですが、受講のための前提条件というわけではありません。「フランス語中級表現読解(I)K」を履修しなかった方にも、授業内容が理解できるように配慮いたします。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100%	

普通の授業態度をもとに、平常点で評価します。出席と予習が重視されますので、そのつもりで受講してください。また語彙力等を確かなものにするために、授業中に小テストを行うことがあります。

また最終講義日試験を行って、到達度を検証する予定です。

講義スケジュール

内容	キーワード
第一回目の授業で指示します	

テキスト

書名	著者 / 出版社 / ISBNコード
Bienvenue-variante-	Evelyne H. Nakamura / 青山社 /

教科書は必ずご購入下さい。コピーなどでの受講はお断りします。

参考書

授業に辞書は必ず携帯下さい。電子辞書か、書籍かは問いません。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1~8

担当教員 内藤 義博

講義内容・テーマ

初級文法を終えた学生を対象に、長文読解に慣れることを目標とする。題材は身近なことをフランス語で表現したもの、フランスの時事問題を簡単なフランス語で書いたもの。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	2回の発表と毎回の小テスト(予定)で判定する。
期間中に一人2回の発表を予定しているが、受講人数に応じて変わる。小テストの回数も同様。		

講義スケジュール

内 容	キーワード
ガイダンス、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	
発表、小テスト	

テキスト

プリントを用意する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 1~8

担当教員 ANTOINE FARON

講義内容・テーマ受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準講義スケジュール内 容キーワード

revision des presentations et grammaire de base

revisions generales (grammaire, vocabulaire, prononciation)

lecture:comprehension de textes simples

les activites quotidiennes

etudier en France 1

etudier en France 2

revisions et preparation du test

test

prendre le train en France

arriver a l'auberge de jeunesse

s'inscrire dans un club et a la bibliotheque

se debrouiller au telephone

comprehension de texte

revisions pour le test

test

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1~8

担当教員 ANTOINE FARON

講義内容・テーマ受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準講義スケジュール内 容キーワード

revision de la grammaire de base

inviter ou aller chez des amis

aller chez le medecin

lecture, comprehension de texte

une region francaise: Midi-pyrenees

parler de ses gouts

revision et preparation du test

test

parler de sa famille

parler de ses projets

comprehension de texte

manger en France

la Francophonie

revisions pour le test

test

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2~8
 担当教員 BRIGITTE DEZ

講義内容・テーマ

- 1.これまで学習したフランス語の知識を使い、また、応用して学習します。授業内容を良く理解し、学習したことを発表します。
- 2.資料の内容をまず、理解し、内容についてコメントしてもらいます。
- 3.授業すべてをフランス語でし、学生同士もフランス語でディスカッションするようにします。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	50 %	出席、授業への積極参加、授業中の小テスト
その他	50 %	発表、グループディスカッション

講義スケジュール

内容	キーワード
学生の自己紹介をします。自分の興味、好きなことなどを話してもらいます。また、この学期の紹介をします。	自己紹介
広告ポスターについて、理解し、コメントや討論をします。	広告ポスター
広告ポスターについて、理解し、コメントや討論をします。	広告ポスター
有名な"BIC"社の使い捨て品に関するテキストを使用して、学習します。	使い捨て品
有名な"BIC"社の使い捨て品に関するテキストを使用して、学習します。	使い捨て品
前回までの授業で習った内容について個々でテストをします。	個々でテスト
小グループでテーマ(日本の伝統品や人気商品等)を選び、資料収集します。	テーマ選び
各グループでテーマをまとめ、発表の準備をします。	発表の準備
各グループでテーマをまとめ、発表の準備をします。	発表の準備
各グループで発表の練習をします	発表の練習
前半のグループの発表をし、ディスカッションします。	発表、ディスカッション
後半のグループの発表をし、ディスカッションします。	発表、ディスカッション
新聞記事を使って学習します。	新聞記事
新聞記事を使って学習します。	新聞記事
フランスのシャンソンを使って学習します。	シャンソン

テキスト

テキストは使用しませんが、選んだテーマについて適当な材料(新聞記事、CD、ビデオカセット)を準備します。

参考書

テキストは使用しません。

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1~8
 担当教員 BRIGITTE DEZ

講義内容・テーマ

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	20 %	
日常点 (小テスト)	40 %	
その他	40 %	出席、授業への積極的参加

講義スケジュール

内 容	キーワード
教科書の紹介をします。学生の自己紹介、出席表を作成します。P.19の復習、P.20-21のL1。	紹介
L.2,P.22-23, L.3, P.24-25,	
L.4, P.26-27.	
L.5, P.28-29.	
L.6, P.30-31,	
L.7, P.32-33, リスニングP.34,	
リスニングP.35、会話のミニテスト。	ミニテスト
L.9, P.36-37, L.10, P.38-39,	
L.11, P.40-41, L.12, P.42-43,	
L.13, P.44-45, L.14, P.46-47,	
リスニングP.48-49、会話のミニテスト。	ミニテスト
L.16, P.50-51, L.17, P.52-53,	
L.18, P.54-55, リスニングP.56,	
リスニングP.57, L.21P.60-61,	
期末テスト	期末テスト

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	Conversations dans la classe, Ver.2004, Avancee, faux-debutants	J-L Azra, B. Vannieu / ALMA / 4-9901072-5-X

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期

単位数 1

配当回生 1~8

担当教員 FRANCK DELBARRE

講義内容・テーマ

このクラスはコミュニケーションを目指しています。
必要に応じて文法のまとめも簡単にします。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	
出席率		
小テスト		
ロールプレイ		

講義スケジュール内 容キーワード

前期の復習: 紹介

約束を決めましょう

遅れないようにしましょう

道に迷った!

アパート探し

買い物

予定を立てましょう

フランスに行ったことがありますか?

ワインの話をしましょう

去年何をしていましたか

来年何をする予定ですか?

今何をしていますか

いつフランスに行きますか?

やすみたい!

テキスト参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2以上
 担当教員 松尾 洋二

講義内容・テーマ

語法的確な把握のもと、中国語の読解力をつける。ネット記事など最新の情報を入手し、教材とする。リスニング力の向上をめざす。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

講義スケジュール

内 容	キーワード
オリエンテーション。語法のポイント;特に補語、アスペクトの整理。	
ネット記事の選読による読解力向上。	
受講生自身のみずからの興味のもと記事を手し、全員で読解。	
リスニング力アップの教材。	
映像教材。	

テキスト

配布プリント

参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
why? に答えるはじめての中国語文法書	相原茂等 / 同学社 2500円 /
電脳中国学	漢字文献情報処理研究会編 / 好文出版 3200円 /

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 嶋田 恭子

講義内容・テーマ

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

ビデオや新聞記事などを題材にして、文法を学習の中心におき講義を進めていく。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

講義スケジュール

テキスト

レジュメを配布する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
 担当教員 陳 敏

講義内容・テーマ

中国2004年の一年間の出来事をさまざまな角度から読んでいく。主に読解力の向上を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

初級中国語を終えた学生を対象とし、主体性ある取り組みを求める。予習、復習が必ずするようにしましょう。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	40 %	
日常点 (小テスト)	60 %	

出席重視クラスなので、5回以上欠席すると評価対象外となる。

講義スケジュール

内 容	キーワード
オリエンテーション・香港と内地の結束を強化しよう	
2004年春節トピックス	
あの女の子が教壇に	
大相撲北京興行	
中国電力危機	
太っちょは警察官になれない	
陽子江ワニを保護しよう	
全ての職業に英語が必要?	
世紀の偉人	
七夕はもう古い?	
中国で韓国ブーム	
天気予報をじっくり見たい	
ローソン対7/11in上海	
大都市こぼれ話	
試験	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	2005年度版時事中国語の教科書	三瀧正道など / 朝日出版社 / 4 - 255 - 45117 - 6

中日辞書を各自持参すること

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 1

配当回生 2以上

担当教員 周宝玲

講義内容・テーマ

リアルタイムのメディア情報なども使って、文化・社会その他、さまざまな中国事情を織り込みつつ、読解力を中心に、総合的中国語能力の向上を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

積極的な授業参加を求める。もちろん授業の予習と復習も求める。中国語学習の楽しさを一緒に開拓していきたい。必要に応じて辞書を持参する。

評価方法・基準

出席率、受講態度、期末試験などによって総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
オリエンテーション、受講生実力調査など	
テキスト文の単語と本文の朗読、翻訳、解説、ポイントの説明など	
前回は勉強した内容についての応用練習など	
テキスト文の単語と本文の朗読、翻訳、解説、ポイントの説明など	
前回は勉強した内容についての応用練習など	
テキスト文の単語と本文の朗読、翻訳、解説、ポイントの説明など	
前回は勉強した内容についての応用練習など	
テキスト文の単語と本文の朗読、翻訳、解説、ポイントの説明など	
前回は勉強した内容についての応用練習など	
テキスト文の単語と本文の朗読、翻訳、解説、ポイントの説明など	
前回は勉強した内容についての応用練習など	
総復習	
テスト	

テキスト

テキストは未定、受講生のレベルによって決めたい。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

<http://cn.yahoo.com/>

その他

授業の進捗と内容については受講生のレベルと要望によって調整することもありうる。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 嶋田 恭子

講義内容・テーマ

ビデオや新聞記事などを題材にして、文法を学習の中心におき講義を進めていく。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	

講義スケジュール

テキスト

レジュメを配布する。

参考書

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 周宝玲

講義内容・テーマ

この授業は、読解に重点を置き、中国語中級レベルの読解力の育成を目標とする。各課で基本単語や表現のパターンを学習した上で、そのさまざまなパターンを使えるように応用練習する。テキストの勉強を通じて現代中国のさまざまな事情を理解し、中国語の読解力の向上を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

以下のような人が受講してください。すでに基礎を勉強し、発音が正しくできる人(中国語の発音記号が正しく読める人)。毎回の出席と授業の予習・復習がきちんとできる人。勉強の意欲のある人。

評価方法・基準

出席率、受講態度、期末試験などによって総合的に評価する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
オリエンテーション、受講生実力調査など	
第1課の単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明、	
第1課の復習、練習問題の確認など	
第2課の単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明、	
第2課の復習、練習問題の確認など	
第3課の単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明、	
第3課の復習、練習問題の確認など	
第4課の単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明、	
第4課の復習、練習問題の確認など	
第5課の単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明、	
第5課の復習、練習問題の確認など	
第6課の単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明、	
第6課の復習、練習問題の確認など	
総復習	
テスト	

テキスト書名

中国文化散歩

著者/出版社/ISBNコード

衛よう群、山添秀子等/白帝社/

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

テキストについては1回目の授業で受講生のレベル調査を行い、その調査の結果によってテキストを変更する可能性もある。そして授業の進度や内容などは受講生のレベルと要望によって調整することもある。

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
担当教員 周宝玲

講義内容・テーマ

この授業は、読解に重点を置き、中国語中級レベルの読解力の育成を目標とする。各課で基本単語や表現のパターンを学習した上で、そのさまざまなパターンを使えるように応用練習する。この授業を受けることによって現代中国の文化、習慣などさまざまな事情を理解し、さらなる中国語の読解力の向上を目指す。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

以下のような人が受講してください。すでに基礎を勉強し、発音が正しくできる人(中国語の発音記号が正しく読める人)。毎回の出席と授業の予習・復習がきちんとできる人。勉強の意欲のある人。

評価方法・基準

出席率、受講態度、期末試験などによって総合的に評価する。出席を重視する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
オリエンテーション、受講生実力調査など	
テキストの単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明など	
前回で勉強した内容の復習、練習問題のチェック、応用練習など	
テキストの単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明など	
前回で勉強した内容の復習、練習問題のチェック、応用練習など	
テキストの単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明など	
前回で勉強した内容の復習、練習問題のチェック、応用練習など	
テキストの単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明など	
前回で勉強した内容の復習、練習問題のチェック、応用練習など	
テキストの単語と本文の朗読、翻訳、ポイントの説明など	
前回で勉強した内容の復習、練習問題のチェック、応用練習など	
総復習	
テスト	

テキスト

テキストは受講生のレベルによって決めたい。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページ

<http://cn.yahoo.com/>

その他

二回で一課のペースで進めるつもりだが、授業の進度と内容などは受講生のレベルと要望によって変更することもありうる。

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 2以上
 担当教員 胡 玉華

講義内容・テーマ

中国語の基礎を身につけた既習者を上級レベルと導くことを目的とする。教科書の内容を学ぶとともに、中国において日常生活で起こりうるさまざまな問題に対処できるようにする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

積極的に発言することを強く要求する。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	50 %	
その他	50 %	出席率(10%)・宿題のできばえ(20%)・授業中の発言頻度(20%)、(20%)

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業の展開と規則を説明する。受講者のレベルをチェックする。受講者の要望を聞く。	受講者のレベルに合わせて、進度を変える場合もある。
第1課「来到北京」テキストの内容にしたがって授業を進める。	
第1課の練習；第2課「在賓館」導入	
第2課の練習	
第3課「初次見面」	
第3課の練習；第4課「北京变化真大」導入	
第4課の練習	
第5課「北京の交通」	
第5課の練習；第6課「邀朋友外出」導入	
第6課の練習	
第7課「請客」	
第7課の練習；第8課「買東西」導入	
第8課の練習	
總復習	
試験	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	実用中国語会話	張明傑 / 金星堂 /

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 1 配当回生 1以上
 担当教員 黄麗華

講義内容・テーマ

初級で習得した中国語の基礎を土台に、中国語コミュニケーションのレベルをさらにステップアップさせることを目指します。初歩的な知識が不十分な学生も心配ありません。すでに初級で学習した箇所を繰り返し復習しながら、新しいものを少しずつ学んでいきます。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

基礎的な知識に多少差があると思われる学生も、自信を持って受講すれば、それなりの成果を得ることができます。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	40 %	最終講義日の学期末試験
日常点(小テスト)	30 %	受講態度・小テストなど
その他	30 %	出席状況

講義スケジュール

内 容	キーワード
授業案内 発音のポイント総練習	
自己紹介 隣の人と姓名を尋ねあう 他人の紹介	紹介
客を迎える表現 家族の紹介	家族
“来…”の表現 様態補語“得”について	趣味
まとめて練習	
時刻の言い方 “快…了”について	一日の生活
“…得要死”の表現 “可別…了”の表現 曜日の表現	一週間の生活
“…不了”について “把”の構文について	天気
まとめて練習	
小テスト	
「乗り換え」の言い方 「近道をする」の言い方 「地図をか く」の言い方 「道順」を説明する言い方	道順
状況や意向の聞き方 「有沒有」の使い方	買い物
「長さ」「重さ」「高さ」の言い方	色彩
総復習	
期末試験	

テキスト	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	中国語スピーキング倶楽部	相原 茂 / 朝日出版社 / 4-255-45065-x

参考書

参考書は必要に応じて指示します。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 1 配当回生 1以上
 担当教員 黄麗華

講義内容・テーマ

初級で習得した中国語の基礎を土台に、中国語コミュニケーションのレベルをさらにステップアップさせることを目指します。初歩的な知識が不十分な学生も心配りません。すでに初級で学習した箇所を繰り返し復習しながら、新しいものを少しずつ学んでいきます。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

基礎的な知識に多少差があると思われる学生も、自信を持って受講すれば、それなりの成果を得ることができます。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	40 %	最終講義日の期末試験
日常点(小テスト)	30 %	受講態度・小テスト
その他	30 %	出席状況

講義スケジュール

内 容	キーワード
前期の総復習	
存在を表わす“在” 場所+“V着”+モノの表現 「ちょっと～をする」の表現	位置
“好容易”と“好不容易”の使い方 “除了…”の使い方	旅
“～しながら～する”の表現 疑問詞の呼応用法について	暮らし
各課の練習	
数量補語について 「なかなか～だ」の表現	夢
“太…了”の表現 “要是…才不”の表現	質問と応答
“能不能…”について “比方說…”について	勧誘
各課の練習	
小テスト	
“～しても構わないかどうか”を尋ねる表現 「あいづち」の表現	自己主張
人に何かを頼むときのさまざまな表現	依頼
“道理で～だ”の表現 「ほんとうに～なんです」の表現	感想
総復習	
期末試験	

テキスト	書名	著者/出版社/ISBNコード
	中国語スピーキング倶楽部	相原 茂/朝日出版社/4-255-45065-x

参考書

参考書は必要に応じて指示します。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 2~8
 担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

- 1、ドイツ語検定4級(よくなる人は3級)程度の力をつける。
- 2、ドイツの歌を2・3曲覚える。
- 3、ZDF(ドイツの公共放送です)を見て、現在のドイツを知る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ
 ドイツ語の既習者は、少しでも復習しておいてください。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	70 %	
日常点(小テスト)	30 %	

* 日常点評価
 隔週で、合計8回の授業です。
 毎回授業の初めに小テスト。
 最終講義に、少し大きめの小テスト。

講義スケジュール

内 容	キーワード
1回目(4月11日)、発音と教科書の1章	
2回目(4月25日)、2、3章	
3回目(5月 9日)、4、5章	
4回目(5月23日)、6、7章	
5回目(6月 6日)、8、9章	
6回目(6月20日)10、11章	
7回目(7月 4日)12、13章	
8回目(7月11日)最終講義試験	

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『CDエクスプレス ドイツ語』	小塩節 / 白水社 / 4-560-00478-1

参考書

授業の中間に少し休憩を取って、ドイツ紹介のビデオと、その日のZDFニュースのハイライト、を見る時間をとります。ドイツ文化にも親しんでください。
 ドイツの歌のプリントも配ります。何曲かドイツ語の歌を歌えるようになって下さい。
 参考書は特になし。必要な人には授業中に紹介します。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 2~8
 担当教員 大西 光弘

講義内容・テーマ

- 1、ドイツ語検定4級(よくてできる人は3級)程度の力をつける。
- 2、ドイツの歌を2・3曲覚える。
- 3、ZDF(ドイツの公共放送です)を見て、現在のドイツを知る。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ
 ドイツ語の既習者は、少しでも復習しておいてください。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	70 %	
日常点(小テスト)	30 %	

*日常点評価
 隔週で、合計8回の授業です。
 毎回授業の初めに小テスト。
 最終講義に、少し大きめの小テスト。

講義スケジュール

内 容	キーワード
1回目(9月26日)、発音と、教科書の1章	
2回目(10月10日)(祝日)、2、3章。	
3回目(10月24日)、4、5章。	
4回目(11月 7日)、6、7章、	
5回目(11月21日)、8、9章。	
6回目(12月 5日)10、11章。	
7回目(12月19日)12、13章。	
8回目(1月16日)最終講義試験	

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
『メモ式 ドイツ語早わかり』	在間進 / 三修社 / 4-384-00956-9

参考書

授業の中間に少し休憩を取って、ドイツ紹介のビデオと、その日のZDFニュースのハイライト、を見る時間をとります。ドイツ文化にも親しんでください。
 ドイツの歌のプリントも配ります。何曲かドイツ語の歌を歌えるようになって下さい。
 参考書は特になし。必要な人には授業中に紹介します。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 2~8
 担当教員 内藤 義博

講義内容・テーマ

隔週の講義によってフランス語基礎(仏検4級程度)学力を習得することを目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	隔週の講義(合計8回)の最後に小テストを行い、その合計を100点に換算して判定する。

講義スケジュール

内容	キーワード
ガイドンス、名詞、冠詞、指示形容詞、所有形容詞、avoir, etre	
主語人称代名詞、強勢形代名詞、否定文の作り方、er動詞、finir, faire	
数詞、非人称表現、前置詞と冠詞の縮約、aller, venir	
疑問文の作り方、疑問詞	

テキスト

プリントを用意する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 2~8

担当教員 内藤 義博

講義内容・テーマ

隔週の講義によってフランス語基礎学力(仏検4級程度)の習得を目標とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	隔週の講義(合計8回)の最後に小テストを行い、その合計を100点に換算して判定する。

講義スケジュール

内 容	キーワード
ガイドンス、名詞、冠詞、指示形容詞、所有形容詞、avoir, etre	
主語人称代名詞、強勢形代名詞、否定文の作り方、er動詞、finir, faire	
数詞、非人称表現、前置詞と冠詞の縮約、aller, venir	
疑問文の作り方、疑問詞	

テキスト

プリントを用意する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 2~8

担当教員 寺本 あけみ

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得するとともにスペイン語圏の文化についての知識を身につける。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	
* 日常点評価		

講義スケジュールテキスト

授業時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 2~8

担当教員 寺本 あけみ

講義内容・テーマ

スペイン語の基本的な文法を習得するとともにスペイン語圏の文化についての知識を身につける。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	
* 日常点評価		

講義スケジュールテキスト

授業時に指示する。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 2~8
 担当教員 鷲尾 祐子

講義内容・テーマ

この授業ではテキストに沿って基本から復習し、中国語の基礎的な力をつけます。
 隔週開講で毎回試験を実施し、前回習ったことを着実に身につけてから次に進みます。
 前期末には、前期に学んだ中国語は、すべて聴き取れて書き取れ、そして話せることが目標です。毎回の講義及び試験もそれを目指しています。
 試験の内容はすべて、講義及び宿題で学んだ内容です(朗読、暗誦、書き取りほか)。毎回の授業時に次回の試験の内容を連絡します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ 以下のことができる人が受講してください。
 毎回の授業にきちんと出席でき、毎回の宿題および試験の準備ができる人。
 特に第一回目の欠席は、やむをえない正当な理由がある場合を除いて認められないので、注意してください。
 授業中、携帯等は必ず電源を切ってバッグに入れておく。(時計が必要ななら、腕時計をもつこと。)
 辞書をまだ持っていない人は、一回目の説明を聞いてから購入してください。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	50 %	
日常点 (小テスト)	50 %	

以下の成績の合計 の総合評価。しかしまず出席です。出席しないと試験も受けられません。隔週講義の際、毎回実施される試験の成績の合計 出席状況と授業態度及び宿題への取り組み 最終講義試験

講義スケジュール

内 容	キーワード
発音の基礎を復習し、確実に身につける	
同上	
テキストを文法 本文 応用の順で勉強する	
同上	
同上	
同上	
同上	

テキスト

『話す中国語・スリム版』董燕・遠藤光暁著 朝日出版社 テキストは必ず購入すること(立命生協)。コピーの場合、単位は認定しません。

参考書

『中日辞典』もしくは『プログレッシブ中国語辞典』いずれも小学館

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 2~8
 担当教員 鷲尾 祐子

講義内容・テーマ

この授業ではテキストに沿って基本から復習し、中国語の基礎的な力をつけます。
 隔週開講で毎回試験を実施し、前回習ったことを着実に身につけてから次に進みます。
 前期末には、前期に学んだ中国語は、すべて聴き取れて書き取れ、そして話せることが目標です。毎回の講義及び試験もそれを目指しています。
 試験の内容はすべて、講義及び宿題で学んだ内容です(朗読、暗誦、書き取りほか)。毎回の授業時に次回の試験の内容を連絡します。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ 以下のことができる人が受講してください。
 毎回の授業にきちんと出席でき、毎回の宿題および試験の準備ができる人。
 特に第一回目の欠席は、やむをえない正当な理由がある場合を除いて認められないので、注意してください。
 授業中、携帯等は必ず電源を切ってバッグに入れておく。(時計が必要ななら、腕時計をもつこと。)
 辞書をまだ持っていない人は、一回目の説明を聞いてから購入してください。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	50 %	
日常点 (小テスト)	50 %	

以下の の総合評価。しかしまず出席です。出席しないと試験も受けられません。 隔週講義の際、毎回実施される試験の成績の合計 出席状況と授業態度及び宿題への取り組み 最終講義試験

講義スケジュール

内 容	キーワード
発音の基礎を復習し、確実に身につける	
同上	
テキストを文法 本文 応用の順で勉強する	
同上	
同上	
同上	
同上	
試験	

テキスト

『話す中国語・スリム版』董燕・遠藤光暁著 朝日出版社 テキストは必ず購入すること(立命生協)。コピーの場合、単位は認定しません。

参考書

『中日辞典』もしくは『プログレッシブ中国語辞典』いずれも小学館

授業の方法(大学院科目のみ)

参考になるWWWページ

その他

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 2~8

担当教員 鄭 雅英

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の修得と発音の練習に始まり、挨拶言葉、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。ハングル検定、5級の合格を目指す。授業ごとに課題を与え、講義は隔週(8回)、講義日に小テストを行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	最終講義試験をふくむ

* 日常点評価

成績評価は合格の場合、原則として「C」、不合格の場合「F」とする

講義スケジュール

内 容	キーワード
文字と発音(母音)	
文字と発音(子音、バッチム)	
発音の変化	
指定詞と存在詞を使った平叙文・否定文	
丁寧形	
疑問詞と数字	
用言の否定形	
試験	

テキスト

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
やさしいハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / ISBN4-88400-043-0

参考書

油谷幸利他『朝鮮語辞典』(小学館)

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 後期 単位数 2 配当回生 2~8
 担当教員 鄭 雅英

講義内容・テーマ

ハングルを習い始めた初歩の段階。母音・子音の修得と発音の練習に始まり、挨拶言葉、ハングルのごく短い文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。ハングル検定、4級の合格を目指す。
 授業ごとに課題を与え、講義は隔週(8回)、講義日に小テストを行う。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

該当者のみ

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点(小テスト)	100 %	最終講義試験をふくむ

* 日常点評価

成績評価は合格の場合、原則として「C」、不合格の場合「F」とする。

講義スケジュール

内容	キーワード
文字と発音(母音)	
文字と発音(子音・パッチム)	
発音の変化	
指定詞・存在詞を使った平叙文・否定文	
丁寧形	
疑問詞と数詞	
用言の否定形	
試験	

テキスト

書名	著者 / 出版社 / ISBNコード
やさしいハングル	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 /

参考書

油谷幸利他『朝鮮語辞典』(小学館)

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業開講期間 前期

単位数 2

配当回生 3~8

担当教員 仲井 邦佳

講義内容・テーマ

スペインの言語と文化を中心に、他の西ヨーロッパの言語や文化も視野に入れながら講義する。基礎的なコミュニケーション能力の身につけることは単位取得の条件とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
日常点 (小テスト)	100 %	期間中1,2回小レポート, テスト等を行う。

合格の場合は「C」、不合格の場合は「F」とする。

講義スケジュール

内 容	キーワード
ガイドンス ヨーロッパとは？	
インド=ヨーロッパ語	
ローマ帝国	
ラテン語とロマンス諸語	
スペイン語圏	
スペインの歴史(ローマ化とゲルマン民族の到来)	
(イスラムの侵入とレコンキスタ)	
(グラナダ陥落と新大陸発見)	
(スペイン帝国)	
スペインの現代文化	
ラテンアメリカの歴史	
ラテンアメリカの現代文化	
日本とスペイン, ラテンアメリカ	
まとめ	

テキスト参考書

書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
現代ヨーロッパの言語	田中克彦他 / 岩波書店 /
ヨーロッパとは何か	増田四郎 / 岩波書店 / 4-00-413014-X

その他, 授業中に紹介する。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

授業は14回。課題等を課すことによって1回分とする。

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 3~8

担当教員 石田 美紀

講義内容・テーマ

イタリアの言語と文化的現象を概観する。イタリア語の基礎知識を修得し、その文化的背景を理解することを目的とする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目

イタリア語の知識がどれほどあるかは問わない。

ただし、イタリアの文化現象の根幹に位置するイタリア語そのものにも関心を持つことが求められる。

評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	70 %	期末にレポートを提出する。
日常点(小テスト)	30 %	出席はとらないが、適宜小レポートの提出を求める。

講義スケジュール

内 容	キーワード
イタリアという国	
イタリア語の特徴1	イタリア語
イタリア語の特徴2	イタリア語
イタリア語の特徴3	イタリア語
イタリアの歴史的背景1	イタリア史
イタリアの歴史的背景2	イタリア史
イタリアの歴史的背景3	イタリア史
イタリアと絵画 1	イタリア美術
イタリアと絵画 2	イタリア美術
イタリアとオペラ 1	オペラ
イタリアとオペラ 2	オペラ
イタリアと映画1	イタリア映画
イタリアと映画2	イタリア映画
日本とイタリア	

テキスト

特になし。

参考書

特になし。

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

第1回授業の前に、総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。

授業開講期間 前期 単位数 2 配当回生 3~8
 担当教員 鈴木 常勝

講義内容・テーマ

当講義は語学単位回復科目として設定されている。中国語学習体験のない学生をも対象として、中国語、アジア文化の理解を目指す。中国語の基礎的知識の把握にむかわ、初歩レベルの中国語会話練習をとりいれ、中国語に対する理解を求める。また教材・映像を活用しながらのアジア文化との接触を通して、受講生のアジア理解を深めるものとする。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
レポート	50 %	
日常点 (小テスト)	50 %	

講義スケジュール

内 容	キーワード
~ 7回 中国語の声調(アクセント)と巻き舌音の特徴を身に着けるために、小学生用の朗読文、歌謡曲、数字、地名を用いて練習する。	
8~14回 「日中戦争とメディア」「日中両国の歴史認識のズレ」をテーマに、日中戦争下の中国抗日映画と日本国策紙芝居を資料として取り上げ、論議する。中国人留学生とも話し合う。	

テキスト

参考書	書 名	著者 / 出版社 / ISBNコード
	メディアとしての紙芝居	鈴木常勝 / 久山社 /
	大路(ターラー)朝鮮人の上海電影皇帝	鈴木常勝 / 新泉社 / 4-7877-9406-x

授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他

第1回授業の前に、総括的導入講義を実施します。詳細は別途掲示等で案内します。

授業開講期間 後期

単位数 2

配当回生 3~8

担当教員 巖 敬俊

講義内容・テーマ

- 1.韓国・北朝鮮の言語と文化・歴史について学ぶ。
- 2.NHK-BSニュースを通じて、朝鮮半島で今起きていることを解説する。
- 3.挨拶言葉を中心に、朝鮮語の初歩的な文法およびコミュニケーション能力を身につける。

受講生に関わる情報・履修しておくことが望まれる科目評価方法・基準

評価方法	割合	詳細
定期試験	70 %	
日常点 (小テスト)	30 %	三回程度、小テストを実施する。

割合などは若干、変更の可能性もあります。

講義スケジュール内容キーワード

初回に詳しく説明します。

テキスト

テキストはありません。

参考書授業の方法(大学院科目のみ)参考になるWWWページその他